

9 教育費

1 教育総務費 2 事務局費

[担当：学務給食課] P. 347

1501 通学区域審議会に要する経費 184,300 円 (31,900 円)

[一財 184,300 円]

○ 目的

小中学校通学区域の適正化を期するため、取手市通学区域審議会を組織する。

○ 内容

取手第一中学校と取手東中学校の統合により、中学校の通学区域の見直しを審議する通学区域審議会を組織し、審議を行った。また、下高井区画整理地（取手ゆめみ野）の街開きによる小学校の通学区域を審議する通学区域審議会を組織し、審議を行った。

○ 効果

通学区域審議会の審議により、中学校統合後の通学区域の適正化及び区画整理地に係る小学校の通学区域の見直しをすることができた。

[担当：学務給食課] P. 347

2201 通学送迎に要する経費 840,000 円 (840,000 円)

[一財 840,000 円]

○ 目的

旧高須小が桜が丘小に統合されたことに伴い、遠距離通学となる大留第1地区（小貝川左岸）の児童の安全な通学手段を確保する。

○ 内容

登下校時に、桜が丘小と対象児童の自宅の間をタクシーで送迎した。

対象者 大留第1地区の児童 6年生：1人 4年生：1人

○ 効果

対象児童に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

[担当：学務給食課] P. 347

2301 教育情報機器整備に要する経費 10,788,398 円 (5,467,146 円)

[国・県 209,000 円 一財 10,579,398 円]

* 特財内訳

[国補：子育て支援交付金 209,000 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した校務処理を行うため、教育情報ネットワークを構築し、教育委員会と小中学校の事務の効率化を図る。

○ 内容

- ・小中学校全校の校務事務の情報を教育委員会と学校が共有する事で、教職員の事務の効率化を図る。
- ・市内全中学校において、成績保健管理システムを導入した。
- ・幼稚園及び小中学校において、保護者の携帯電話のメールに緊急の情報を配信するメールシステムを導入した。

主な事業費内訳

- ・教職員情報ネットワーク使用料 5,103,000 円
- ・中学校生徒情報管理システム使用料 1,844,850 円
- ・小中学校緊急連絡システム使用料 407,925 円

○ 効果

- ・教育委員会と学校が情報を共有する事で、事務の効率化が図れた。
- ・中学校において成績保健管理システムを導入したことにより、通知表作成等事務が効率化でき、生徒に向きあう時間の確保につながった。
- ・小中学校において緊急連絡システムを導入したことにより、保護者への緊急の情報迅速に伝達でき、かつ、速やかに確認がとれるようになった。

1 教育総務費 3 育英事業費

[担当：教育総務課] P.347

2101 奨学生貸付金 3,379,300 円 (4,819,300 円)

[その他 3,379,300 円]

* 特財内訳

[諸収入：奨学金貸付金元利収入 6,236,800 円(償還者数：38名)のうち 3,379,300 円]

○ 目的

経済的に修学が困難な大学生・短大生に奨学金を貸し付け、有為な人材を育成する。

○ 内容

貸付額 国公立大 月額 30,000 円 私立大 月額 40,000 円

種 別	23 年度	22 年度	21 年度
国公立大学	0 名	0 名	2 名
私立大学	7 名	10 名	10 名
合 計	7 名	10 名	12 名

○ 効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

1 教育総務費 4 教育研究指導費

[担当：指導課] P.349

0501 教育振興に要する経費 68,497,431 円 (49,366,388 円)

[一財 68,497,431 円]

○ 目的

国際化、情報化、科学技術の飛躍的な発展の中で、変化の激しい社会に対応できる児童生徒の育成が必要である。基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせ、自ら学び自ら考える力など「生きる力」を育むことをねらいとして、教育の充実を図る。

○ 内容

- ・小中学校教師用教科書・指導書購入 14,494,978 円
新学習指導要領改訂により、小中学校教科書が新たに採択されたことに伴い、教師用教科書・指導書を活用し、指導内容の充実を図った。
- ・英語指導助手業務委託料 48,457,500 円
英語指導助手 13 人(中学校各校に 1 人配置、小学校は 3 校に 1 人配置)を民間専

門業者に委託し、英語教育の充実に努めた。また、英語指導助手との交流により国際理解の推進を図った。

- ・デジタル教科書(指導用提示資料) 2,765,700 円
- ・学習ボランティア謝礼 185,000 円
- ・「心の授業」「心の先生」謝礼 175,000 円
- ・学校問題解決サポートチーム員謝礼 18,900 円
- ・その他(需用費・負担金等) 2,400,353 円

○ 効果

新学習指導要領改訂をふまえ、各教科のねらいに迫る授業展開が図られた。デジタル教科書を活用することで、児童生徒の学習意欲を高めることができた。小学校の外国語活動、中学校の英語教育、及び国際理解教育の充実に図られた。

[担当：指導課] P.351

1001 特別支援教育に要する経費 1,573,173 円 (1,678,194 円)

[一財 1,573,173 円]

○ 目的

障害のある児童生徒を支援したり、保護者や教員からの相談に応じたり、さらには、取手市内の小中学校の特別支援教育の体制づくりを支えたりする。

○ 内容

(1) 特別支援教育相談員の配置

児童等の就学や適応に関する調査や教職員や保護者に対する相談活動を行う。

- ・相談件数

区 分	H23 年度(80 件)	H22 年度(85 件)
未就学児に関して	61 人	62 人
在学児童生徒に関して	15 人	21 人
教職員から	4 人	2 人

(2) 就学指導委員会の実施

障害のある幼児児童生徒の適切な就学のため、医師、特別支援学級担当者、県立伊奈特別支援学校教諭等で構成する委員会で、就学先を協議、判定する。

- ・判定件数

区 分	H23 年度(98 件)	H22 年度(115 件)
新学齢児	50 人	43 人
在学児童生徒	48 人	72 人

(3) 特別支援教育サポート事業の実施

地域における特別支援教育相談体制を充実するとともに、小中学校等における特別支援教育校内支援体制の整備と活用に関する支援を行う。

教職員や保護者向けの相談活動「ほのぼの相談会」や、教職員向けの研修会などを企画、運営している。

- ・「ほのぼの相談会」相談件数

区 分	H23 年度(14 件)	H22 年度(11 件)
保 護 者	14 人	11 人
教 職 員	0 人	0 人

- ・研修会への参加者

区 分	H23 年度	H22 年度
特別支援コーディネーター研修会	45 人	35 人

○ 効果

障害のある幼児等を早期に発見することができ、また、幼稚園・保育所と小学校との間での連携が充実し、支援の移行が適切に行われた。

市内小中学校の校内支援体制を充実させることができた。

[担当：指導課] P. 351

2301 適応指導事業に要する経費 26,122,213 円 (25,359,120 円)

[一財 26,122,213 円]

○ 目的

不登校児童生徒の適応力を高め、学校へ復帰する力を伸ばす指導が必要である。様々な要因で集団不適応の児童生徒に適切に対応するため、学校や関係諸機関との連携を図りながら児童生徒や保護者への指導を行う。

○ 内容

教育相談員と指導主事が、適応指導教室や学校において、教科の指導、集団活動、個別の相談業務等を行った。これらを通して児童生徒が自立し、コミュニケーション力をつけ、学校に適応できるよう継続的に支援した。併せて、保護者との面談も行った。

○ 効果

平成 23 年度は小中学生計 9 人の通室者のうち、5 人が学校生活に復帰することができた。また、学校への復帰ができなかった児童生徒も適応指導教室に通室することによりコミュニケーション力を育成することができた。

年 度	通室者数	復帰数	復帰率
H23	9 人	5 人	56%
H22	7 人	7 人	100%

[担当：指導課] P. 353

3101 理科支援員等配置に要する経費 532,878 円 (787,250 円)

[国・県 468,390 円 一財 64,488 円]

* 特財内訳

[県委：理科支援員等配置事業委託金 468,390 円]

○ 目的

全小学校において、理科の授業での観察・実験活動等における教員の支援や、先端技術に関する実験等の演示・体験活動を行う人材を派遣することにより、小学校理科教育の一層の活性化及び充実を図るとともに、小学校教員の理科指導力の向上を図る。

○ 内容

(1) 理科支援員の配置

配置校及び学級数：小文間・永山・吉田・高井小学校 5、6 年の 12 学級

内容：観察・実験活動等の準備、実験支援、後片付け、教材開発、観察・実験、理科室環境の整備、活動等技能向上支援等

区 分	H23	H22
配置校数	4 校	3 校
配置学級数	12 学級	12 学級

(2) 理科特別講師の派遣校数及び学級数

対象：理科支援員を配置していない小学校

(稲小、高井小、藤代小)

内容：製薬研究者による先端科学技術に関する知識やものづくり技術の伝授、
実験等 (4 人の製薬研究者を招へい)

区 分	H23	H22
派遣校数	3 校	7 校
派遣学級数	12 学級	12 学級

○ 効果

理科支援員による授業支援は、教師が児童に直接向き合う時間を増加させるとともに、小学校理科教育の一層の活性化及び充実を図ることに有効であった。また、理科特別講師による授業は、児童の理科に対する興味関心を高めるだけでなく、夢を持つことの大切さ等、キャリア教育の視点からも効果があった。

[担当：指導課] P. 353

4201 日本語指導員に要する経費 870,072 円 (787,087 円)

[一財 870,072 円]

○ 目的

日本語指導を必要とする帰国児童生徒及び外国人児童生徒への日本語の指導を行い、学校生活を支援する。

○ 内容

- (1) 学校での日本語指導への協力
- (2) 教科書・指導資料等の翻訳
- (3) 学校での保護者との通訳等

○ 効果

日本の学校への円滑な受け入れが可能となり、学校生活の不安を解消できた。

年度	指導員数	支援対象児童生徒の内訳
H23	8 人	英語 4 人 ポルトガル語 1 人 タイ語 1 人 ハンダ語 1 人
H22	4 人	ポルトガル語 3 人 タイ語 1 人

[担当：指導課] P. 353

4501 学力向上推進事業に要する経費 4,562,166 円 (8,548,795 円)

[国・県 435,000 円 一財 4,127,166 円]

* 特財内訳

[県委：学びの広場サポートプラン委託金 435,000 円]

○ 目的

児童生徒に基礎的・基本的な内容の定着を図り、確かな学力を育成する。また、指導体制や指導方法等の研修を深め、教員の資質向上を図る。

○ 内容

- 6月～2月 授業研究会(国語・社会・算数数学・理科・英語・道徳など9回)(小学校外国語活動1回)
- 4月～3月 ICT活用支援事業(授業支援48回 研修支援12回 校務支援1回)
- 8月8日 理科授業力向上研修会
- 7月～8月 夏休み算数スクール(市内全小学校に学習支援員各1人を5日間配置)
- 7月～8月 学びの広場(市内全小学校4学年各学級に学習支援員各1人を5日間配置)
- 11月29日 小学校外国語活動研修会
- 2月29日 国語授業力向上研修会(講演会)

○ 効果

研修会や講演会、ICT活用支援事業を通して教職員の資質向上を図ってきた。特に国語科・理科・小学校外国語活動においては、研修内容が即授業実践につながるなど、実効性の高い研修となった。また、ICT活用支援事業においても、教職員のICT活用回数が増加するなど、事業の成果向上がみられた。さらに、夏休みの補習授業を実施したことで、児童の学ぶ意欲が向上し、確かな学力の育成につながった。

1 教育総務費 5 青少年育成費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 355

1001 青少年健全育成に要する経費 10,557,323円(10,780,351円)

[国・県43,070円 一財10,514,253円]

* 特財内訳

[県補：青少年相談員店舗訪問業務補助金43,070円]

○ 目的

青少年センターに配置した特別青少年相談員と各地区から委嘱した青少年相談員を中心に、青少年自身や保護者からの悩みごとや困りごとなどの相談を受けるとともに、学校や関係機関団体と協力して街頭指導を行い、問題行動の早期発見、早期解消を図り、青少年が安心して生活できる街づくりに努める。

また、青少年育成団体に助成を行うことにより、青少年の健全育成に関わる市民活動の活性化を図る。

○ 内容

- ・報酬 青少年相談員報酬 6,222,800円(月額9,400円 56人)
特別青少年相談員報酬 2,712,000円(月額113,000円 2人)
- ・負担金、補助及び交付金 7団体 1,342,100円

○ 効果

この事業を通して青少年健全育成の意識の高揚が図られ、青少年の心身の健全なる育成を推進することができた。

2 小学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P. 359

2001 小学校管理に要する経費 205,233,677円(188,666,236円)

[国・県1,756,845円 その他8,300,175円 一財195,176,657円]

＊ 特財内訳

[県補：学校活性化 TT 特別配置事業費補助金 1,756,845 円]

[使用料：学校開放小学校体育館使用料 879,800 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 7,278,000 円]

[諸収入：取手小太陽光発電による売電料 54,576 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 87,799 円]

○ 目的

教育環境の更なる充実を図ることで、児童の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へと繋げる。

○ 内容

- ・TT 特別配置事業により、県からの TT 加配がついていない小学校 4 校（高井小、宮和田小、山王小、六郷小）に TT 非常勤講師を配置し、課題別学習など多様な学習を展開し、個に応じたきめ細かな指導を行った。（2,665,259 円）
- ・教育補助員を 15 校（取手小、白山小、小文間小、寺原小、永山小、井野小、白山西小、戸頭西小、吉田小、戸頭東小、六郷小、藤代小、宮和田小、久賀小、桜が丘小）に配置し、障害のある児童の生活支援を行った。（38,639,687 円）
- ・永山小改築校舎の備品の購入を行った。（6,283,200 円）

○ 効果

- ・TT 非常勤講師の配置により個々に応じた対応ができ、基本的な学力の定着が図れた。また、教育補助員を配置することで、障害のある児童の生活支援ができた。
- ・永山小改築校舎に新しい備品を整備することにより校内環境を良くすることができた。

2 小学校費 1 学校管理費

[担当：教育総務課] P.361

2101 小学校施設管理に要する経費 42,295,483円 (41,287,403円)

[一財 42,295,483円]

○ 目的

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

(1) 需用費

項 目	内 容	金 額
修繕料	各小学校の施設修繕料	10,174,201円
	各小学校の施設修繕料（学校配当分）	4,233,508円

(2) 委託料

委 託 名	内 容	金 額
学校警備委託	各小学校の機械警備	5,346,936円
浄化槽維持管理及び清掃委託	浄化槽の維持管理及び清掃（小文間小、永山小、高井小、山王小、六郷小、宮和田小）	2,241,750円
消防設備保守点検委託	各小学校の消防設備の保守点検	2,937,900円
排水管清掃委託	各小学校の排水管の清掃	283,500円
電気管理技術者代行委託	各小学校の電気設備の安全管理	2,608,200円
プールろ過装置保守点検委託	各小学校のプールろ過装置の保守点検	622,650円

高架水槽及び受水槽清掃委託	各小学校の高架水槽、受水槽の清掃	766,500円
草刈り清掃委託	小学校隣接地の除草（取手小、白山小）	1,275,750円
給水管漏水調査委託	漏水調査（稲小）	141,750円
樹木消毒委託	各小学校の樹木の消毒	1,642,200円
樹木剪定委託	各小学校の樹木の剪定	1,464,797円
空調設備保守点検委託	空調設備の保守点検（戸頭東小、戸頭西小、白山小、井野小、吉田小、寺原小、永山小、白山西小、小文間小、高井小、稲小）	665,175円
テレビ共同受信設備保守点検委託	テレビ共同受信設備の保守点検（取手小、藤代小）	1,695,750円
エレベーター保守点検委託	エレベーターの保守点検（取手小、寺原小）	1,297,800円
太陽熱温水設備保守点検委託	太陽熱温水設備の保守点検（取手小）	189,000円
校庭散水設備保守点検委託	スプリンクラーの保守点検（取手小、寺原小）	69,720円
遠赤外線暖房機保守点検委託	遠赤外線暖房機の保守点検（取手小）	273,000円
引越業務委託	校舎改築に伴う引越（永山小）	189,000円
永山小旧浄化槽清掃消毒業務委託	校舎改築により、既設浄化槽廃止に伴う清掃及び消毒	981,750円

(3) 使用料及び賃借料

項 目	内 容	金 額
使用料及び賃借料	電柱共架料	113,524円

(4) 原材料費

項 目	内 容	金 額
原材料費	各小学校施設補修用材料の購入	28,380円
	各小学校施設補修用材料の購入（学校配当分）	258,622円

○ 効果

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：学務給食課] P. 363

2201 小学校保健衛生に要する経費 29,908,378円（30,833,389円）

[その他 2,165,680円 一財 27,742,698円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460×4,708人=2,165,680円]

○ 目的

学校保健法に基づき、児童及び教職員の定期健康診断を実施することにより健康保持を図る。

○ 内容

- ・学校嘱託医(27名)、歯科医(24名)、薬剤師(18名)、産業医(18名)の報酬
- ・児童、教職員健康診断委託 委託先：(社)取手市医師会

小学生

区分	尿	蛭虫	貧血	心臓	結核・肺ガン	小児生活習慣病
対象	全学年	1・2・3年	4年	1年	精密検査対象者	4年
H23	5,191人	2,509人	651人	950人	2人	651人
H22	5,289人	2,522人	656人	1,000人	4人	656人

職員

区分	尿	貧血	心臓	胃がん	結核・肺がん	生化学検査
H23	40人	39人	40人	17人	173人	39人
H22	39人	39人	39人	11人	179人	39人

○ 効果

定期検診を実施することにより、児童・教職員に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。

2 小学校費 2 教育振興費

[担当：学務給食課] P. 365

2001 小学校教育振興に要する経費 13,098,849円 (13,377,760円)

[一財 13,098,849円]

○ 目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

○ 内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品 (18校) 11,586,559円

○ 効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより、より良い学習効果が得られた。

[担当：学務給食課] P. 365

2101 小学校教育設備及び教材費に要する経費 38,407,515円 (29,102,899円)

〈9,476,400円〉※〈〉は、うち22年度繰越分

[国・県 10,261,610円 〈9,417,610円〉 一財 28,145,905円]

* 特財内訳

[国補：地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金 〈9,417,610円〉]

[国補：理科教育設備整備費等補助金 844,000円]

○ 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備及び教材を整備し、良好な学習環境を保つ。

○ 内容

(単位：円)

区分	児童用教材	理科教材	図書	特別支援 学級教材	合計
H23	15,100,581	3,496,319	8,098,667	396,195	27,091,762
H22	15,753,420	2,982,855	8,175,378	200,000	27,111,653

・地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金により小学校図書資料購入

〈9,476,400円〉

○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具及び図書、理科備品を整備することで、良好な教育環境を保つことができた。また、古い図書を更新し学校図書館の図書の充実を図った。

[担当：学務給食課] P. 365

2201 小学校コンピュータ整備に要する経費 41,305,678円 (31,929,386円)

[一財 41,305,678円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、インターネット回線を利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

・主に小学校18校のパソコン使用料(各校21台)に要する経費である。

主な事業費内訳

・パソコン使用料	36,876,000円
・学校ポータル運用管理委託	2,593,080円

○ 効果

小学校18校において、パソコン教材を活用した学習により、より一層の教育の充実が図れた。

[担当：学務給食課] P. 365

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 28,677,310円 (26,350,064円)

[国・県 2,010,000円 一財 26,667,310円]

* 特財内訳

[国補：要保護児童就学奨励費補助金 $114,932 \times 1/2 \approx 57,000$ 円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 $2,600,395 \times 1/2$ 以内 $\approx 886,000$ 円]

[県補：県被災児童就学支援等事業補助金 $1,067,838 \times 10/10 \approx 1,067,000$ 円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な小学校児童の保護者に対し、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護、準要保護及び被災児童就学奨励者数

区分	要保護数	準要保護数	被災児童数	合計
H23	20人	379人	18人	417人
H22	16人	384人	—	400人

・特別支援教育就学奨励者数

区分	在籍者数	該当者数
H23	126人	86人
H22	113人	73人

○ 効果

保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P. 367

2901 小学校特別活動助成に要する経費 1,858,485円 (2,065,300円)

[一財 1,858,485円]

○ 目的

諸発表・体育大会等を通して児童の活動への意欲を高める。

○ 内容

音楽発表会補助金	559,185 円
陸上記録会補助金	1,230,000 円
その他（賞状印刷代）	69,300 円

○ 効果

市音楽会、諸発表、体育大会等への参加により、児童のスポーツ等への関心意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

2 小学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P. 367

2101 小学校施設整備に要する経費 16,908,854円 (23,185,050円)

〈2,940,000円〉※〈 〉は、うち22年度繰越分

[国・県 2,200,000円 〈2,200,000円〉 一財 14,708,854円]

* 特財内訳

[国補：地域活性化・きめ細かな交付金 〈2,200,000円〉]

○ 目的

各小学校の施設を整備し、教育環境の充実を図る。

○ 内容

工事請負費

工 事 名	内 容	工 期	工事費
稲小倉庫解体工事	軽量鉄骨造平屋建 床面積168㎡ 解体撤去工事	H23. 12. 13 ~ H24. 2. 29	〈2,940,000円〉
取手小電波障害アナログ施設撤去工事	アナログアンテナ撤去工事 引込線撤去工事 (35箇所)	H23. 9. 1 ~ H23. 11. 30	1,218,000円
施設管理営繕工事	各小学校の営繕工事		12,429,564円

○ 効果

各小学校施設の整備を行い、安全かつ快適な教育環境を提供することができた。

[担当：教育総務課] P. 369

2201 小学校建設事業に要する経費 656,021,723 円 (550,883,900 円)

[国・県 267,801,000 円 地方債 364,700,000 円 その他 19,171,000 円
一財 4,349,723 円]

* 特財内訳

[国補：安全・安心な学校づくり交付金 201,793,000 円]

永山小学校

危険改築

$491,559,000 \times 1/3 + 491,559,000 \times 1/3 \times 1\% \approx 165,491,000$ 円

不適格改築

$73,077,000 \times 1/3 + 73,077,000 \times 1/3 \times 1\% \approx 24,603,000$ 円

単独校調理場（新增築）

$2,088,000 \times 1/2 + 2,088,000 \times 1/2 \times 1\% \approx 1,054,000$ 円

単独校調理場（改築）

$17,091,000 \times 1/3 + 17,091,000 \times 1/3 \times 1\% \approx 5,754,000$ 円

地域連携（複合型）

$14,530,000 \times 1/3 + 14,530,000 \times 1/3 \times 1\% \approx 4,891,000$ 円

[国補：公立学校施設整備費負担金 66,008,000 円]

永山小学校

$132,017,000 \times 1/2 \approx 66,008,000$ 円

[市債：合併特例債 364,700,000 円]

永山小校舎改築工事・工事監理委託

$(12,575,000 + 536,173,550 - 262,910,000) \times 95\% \approx 271,600,000$ 円

永山小コミュニティスペース新築工事・工事監理委託

$(1,973,126 + 72,265,360 - 4,891,000) \times 95\% \approx 65,800,000$ 円

永山小校舎棟廻り屋外整備工事・工事監理委託

$(1,050,000 + 27,688,500) \times 95\% \approx 27,300,000$ 円

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 15,052,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 3,375,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 744,000 円]

○ 目的

校舎耐震補強工事实施見直し設計、校舎・体育館解体工事に伴う工事影響家屋事前調査、校舎の改築、校舎棟廻り屋外整備工事により教育環境の充実を図る。また、永山小学校コミュニティスペース新築に伴い、消耗品及び備品を購入し施設の充実を図る。

○ 内容

(1) 需用費

項目	内容	金額
消耗品費	永山小コミュニティスペース新築に伴う消耗品 (掃除機、ポット、日用品等)	496,762 円

(2) 委託料

委託名	内容	工期	委託料
永山小校舎改築工事監理業務委託	改築工事の工事監理業務	H22.8.10～ H24.3.22	12,575,000 円
永山小校舎棟廻り屋外整備工事監理業務委託	屋外整備工事の工事監理業務	H23.8.23～ H24.3.22	1,050,000 円
永山小コミュニティスペース新築工事監理業務委託	コミュニティスペース新築工事の工事監理業務	H23.5.24～ H24.3.22	1,973,126 円
永山小校舎・体育館解体工事に伴う建物事前調査業務委託	校舎・体育館解体工事に伴う工事影響家屋事前調査業務	H24.1.17～ H24.3.30	1,806,000 円
藤代小校舎耐震補強工事実施設計見直し業務委託	校舎耐震補強工事に伴う実施設計見直し業務	H23.11.10～ H24.1.31	718,200 円

吉田小校舎耐震補強工事 実施設計見直し業務委託	校舎耐震補強工事に伴う実施設計見直し業務	H23. 11. 9～ H24. 1. 31	267,750 円
戸頭東小校舎耐震補強工事 実施設計見直し業務委託	校舎耐震補強工事に伴う実施設計見直し業務	H23. 11. 9～ H24. 1. 31	262,500 円

(3) 工事請負費

工 事 名	内 容	工 期	工 事 費
永山小校舎改築工事	老朽化に伴う校舎の改築工事	H22. 8. 7 ～ H24. 3. 15	536,173,550 円
永山小コミュニティスペース 新築工事	コミュニティスペース新築工事	H23. 5. 25～ H24. 3. 15	72,265,360 円
永山小校舎棟廻り屋外整備 工事	校舎棟廻り屋外整備工事	H23. 8. 23～ H24. 3. 15	27,688,500 円

(4) 備品購入費

項 目	内 容	金 額
永山小コミュニティスペース 用備品	永山小コミュニティスペース新築に伴う備品 (事務机、会議用机、椅子等)	744,975 円

○ 効果

老朽化した永山小学校校舎の改築工事に伴い、新校舎及びコミュニティスペースが竣工し児童等が快適な学校生活を送れる教育環境の整備が図られた。また、校舎耐震補強工事実施設計見直し業務委託を行い、平成24年度耐震補強工事実施に向け学校施設耐震化の促進を図った。

2 小学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課] P. 371

2001 給食運営に要する経費 295,690,188 円 (296,575,418 円)

[その他 179,163,816 円 一財 116,526,372 円]

* 特財内訳

[諸収入：小学校給食代(自校分) 179,124,784 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 39,032 円]

○ 目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

○ 内容

(1) 臨時栄養士等賃金 8,833,250 円 (7 人)

(2) 委託料

項 目	内 容	金 額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	給食用エレベータ保守点検 (14 校)	1,402,170 円
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃 (12 校)	1,198,582 円
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃 (12 校)	1,618,050 円
給食室害虫防除委託料	給食室の害虫の防除 (18 校)	337,838 円
学校給食調理業務委託料	調理業務を民間の専門業者へ委託した。(9 校：取手小、白山小、寺原小、井野小、白山西小、戸頭西小、吉田小、戸頭東小、稲小)	88,193,490 円

○ 効果

栄養バランスのとれた内容豊かな給食の提供及び給食環境の整備、環境衛生面での充実が図れた。

[担当：学務給食課] P. 371

2101 給食施設整備に要する経費 23,634,598 円 (2,644,940 円)

〈1,774,500 円〉※ 〈 〉は、うち 22 年度繰越分

[国・県 4,710,000 円 〈900,000 円〉 地方債 10,900,000 円 その他 4,610,000 円
一財 3,414,598 円]

* 特財内訳

[国補：安全・安心な学校づくり交付金 3,810,000 円]

[国補：地域活性化・きめ細かな交付金 〈900,000 円〉]

[市債：合併特例債 (15,352,050-3,810,000)×95%≒10,900,000 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 4,610,000 円]

○ 目的

給食室内の衛生管理を徹底強化するために施設の充実を図る。

○ 内容

備品整備 ・ 永山小学校改築に伴う給食室備品 19,320,000 円

施設整備 ・ ボイラー修理 (高井小・白山西小・稲小・戸頭東小) 562,369 円

・ ボイラー移設 (野々井中→永山小) 498,750 円

地域活性化・きめ細かな交付金事業

・ 給食室給水設備修繕

(寺原小・井野小・白山小・戸頭西小・戸頭東小) 〈1,496,250 円〉

・ 換気扇フード塗装修繕 (吉田小) 〈278,250 円〉

○ 効果

給食室内の施設整備及び環境衛生面での充実を図ることができた。

3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P. 375

2001 中学校管理に要する経費 72,214,191 円 (76,000,408 円)

[その他 338,700 円 一財 71,875,491 円]

* 特財内訳

[使用料：学校開放中学校体育館使用料 283,300 円]

[使用料：学校開放中学校武道場使用料 55,400 円]

○ 目的

教育環境の更なる充実を図ることで、生徒の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へ繋げる。

○ 内容

・ 教育補助員を 3 校 (取手二中、藤代中、藤代南中) に配置し、障害のある生徒の教育支援を行った。(2,323,746 円)

○ 効果

・ 教育補助員を配置することで、障害のある生徒の生活支援ができた。

3 中学校費 1 学校管理費

[担当：教育総務課] P.377

2101 中学校施設管理に要する経費 20,335,119円 (19,833,392円)

[一財 20,335,119円]

○ 目的

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

(1) 需用費

項 目	内 容	金 額
修繕料	各中学校の施設修繕料	5,574,139円
	各中学校の施設修繕料 (学校配当分)	2,125,324円

(2) 委託料

委託名	内 容	金 額
学校警備委託	各中学校の機械警備	2,438,100円
浄化槽維持管理及び清掃委託	浄化槽の維持管理及び清掃 (永山中、旧野々井中、藤代中、藤代南中)	1,349,250円
消防設備保守点検委託	各中学校の消防設備の保守点検	1,344,000円
排水管清掃委託	各中学校の排水管清掃	157,500円
電気管理技術者代行委託	各中学校の電気設備の安全管理	1,102,500円
エレベーター保守点検委託	エレベーター保守点検 (取手二中、藤代中、取手東中)	1,578,990円
プールろ過装置保守点検委託	各中学校のプールろ過装置の保守点検	247,800円
高架水槽及び受水槽清掃委託	各中学校の高架水槽、受水槽の清掃	588,000円
給水管漏水調査委託	漏水調査 (藤代南中)	141,750円
樹木消毒委託	各中学校の樹木の消毒	735,000円
樹木剪定委託	各中学校の樹木の剪定	1,272,075円
空調設備保守点検委託	空調設備の保守点検 (取手一中、戸頭中、取手二中、永山中、取手東中、旧野々井中)	329,175円

(3) 原材料費

項 目	内 容	金 額
原材料費	各中学校施設補修用材料の購入 (学校配当分)	92,265円

(4) 補償、補填及び賠償金

項 目	内 容	金 額
電柱移転補償費	戸頭中外周歩道拡幅に伴う電柱移設工事補償費	140,240円

○ 効果

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：学務給食課] P.377

2201 中学校保健衛生に要する経費 15,724,484円 (16,377,631円)

[その他 1,055,700円 一財 14,668,784円]

＊ 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460×2,295人=1,055,700円]

○ 目的

学校保健法に基づき、生徒及び教職員の定期健康診断を実施することにより健康保持を図る。

○ 内容

・学校嘱託医(14名)、歯科医(12名)、薬剤師(7名)、産業医(7名)の報酬

・生徒、教職員健康診断委託 委託先：(社)取手市医師会

中学生

区分	尿	貧血	心臓	結核・肺ガン	小児生活習慣病
対象	全学年	2年	1年	精密検査対象者	2年
H23	2,634人	694人	967人	1人	694人
H22	2,672人	696人	1,022人	4人	696人

職員

区分	尿	貧血	心臓	胃ガン	結核・肺ガン	生化学検査
H23	40人	40人	40人	4人	100人	40人
H22	46人	46人	46人	9人	106人	46人

○ 効果

定期検診を実施することにより、生徒及び教職員に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。

[担当：教育総務課・学務給食課] P. 379

2301 中学校統廃合に要する経費 8,753,039円 (140,420円)

[一財 8,753,039円]

○ 目的

取手市立取手第一中学校と取手市立取手東中学校の閉校準備と統合中学校の開校準備を行う。

○ 内容

・報償費 (統合校校歌・校章作成謝礼、閉校記念品など 752,700円)

・需用費 (統合校部活動ユニフォーム購入、在校生制服用名札など 2,642,875円)
(給食数増加に伴う給食室修繕 788,434円)

・役務費 (閉校式招待者返信用葉書 3,000円)

・委託料 (統合に伴う引越業務委託、統合校ネットワーク整備など 2,703,330円)

・工事請負費 (統合校看板交換及び記念碑移設工事 535,500円)

・備品購入費 (統合校校旗購入、体育館幕など 1,327,200円)

○ 効果

統合準備協議会での協議結果に基づき、統合校が円滑に開校できるように準備することができた。また、平成24年3月31日をもって閉校する両中学校でそれぞれ閉校式を挙行し、生徒、教職員、関係者の他、多くの卒業生や地域の方にご列席いただき、盛大に挙行することができた。

3 中学校費 2 教育振興費

[担当：学務給食課] P. 381

2001 中学校教育振興に要する経費 7,317,552 円 (7,734,836 円)

[一財 7,317,552 円]

○ 目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

○ 内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品 (7 校) 7,170,384 円

○ 効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより、より良い学習環境が得られた。

[担当：学務給食課] P. 381

2101 中学校教育設備及び教材費に要する経費 20,686,308 円 (20,194,349 円)

〈3,182,459 円〉※ 〈 〉 は、うち22年度繰越分

[国・県 3,834,459 円 〈3,182,459 円〉 一財 16,851,849 円]

* 特財内訳

[国補：地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金 〈3,182,459 円〉]

[国補：理科教育設備整備費補助金 652,000 円]

○ 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備の良好な環境を図る。

○ 内容

(単位：円)

区分	生徒用教材	理科教材	図 書	特別支援学級教材	合 計
H23 (7 校)	6,707,568	1,819,655	6,862,326		15,389,549
H22 (8 校)	8,024,442	2,205,401	7,119,443	194,145	17,543,431

・地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金により中学校図書資料購入 〈3,182,459 円〉

○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具及び図書、理科備品を整備することにより、良好な教育環境を保つことができた。また、古い図書を更新し学校図書館の図書の充実を図った。

[担当：学務給食課] P. 381

2201 中学校コンピュータ整備に要する経費 6,982,235 円 (17,421,029 円)

[一財 6,982,235 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、インターネット回線を利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

主な経費

- ・ パソコン使用料 4,781,784 円
- ・ 学校ポータル運用管理委託 1,008,420 円

○ 効果

中学校 7 校において、パソコン教材を活用した学習により、より一層の教育の充実が図れた。

[担当：学務給食課] P. 381

2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 31,387,799 円 (29,032,843 円)

[国・県 1,114,000 円 一財 30,273,799 円]

* 特財内訳

[国補：要保護生徒就学援助費補助金 447,200×1/2≒228,000 円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 1,004,366×1/2 以内≒346,000 円]

[県補：県被災生徒就学支援等事業補助金 540,047×10/10≒540,000 円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な中学校生徒の保護者に対して、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・ 要保護、準要保護及び被災生徒就学援助者数

区 分	要保護数	準要保護数	被災生徒数	合 計
H23	15 人	288 人	5 人	308 人
H22	21 人	271 人	—	292 人

・ 特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
H23	39 人	22 人
H22	31 人	18 人

○ 効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P. 383

2901 中学校特別活動助成に要する経費 12,691,874 円 (12,808,605 円)

[一財 12,691,874 円]

○ 目的

諸発表・体育大会等（県南大会・県大会・関東大会・全国大会）を通して生徒の活動意欲を高める。

○ 内容

音楽コンクール・諸発表大会生徒派遣費補助金	3,605,085 円
体育大会等派遣補助金	9,020,339 円
その他（自動車借上料、賞状印刷代）	66,450 円

○ 効果

市音楽会、諸発表・音楽コンクール・体育大会等への参加により、生徒のスポーツや音楽への関心・意欲が高まり、活動意欲の向上が図れた。

[担当：指導課] P.383

3001 運動部活動外部指導者活用事業に要する経費 12,800円(495,600円)

[一財 12,800円]

○ 目的

運動部活動において、外部から専門的技術指導者を招き、より充実した部活動を行い、たくましい心と体を持った生徒を育成する。

○ 内容

賠償保険料 @1,600×8人=12,800円

○ 効果

4校8人の外部指導者を活用したことにより、運動部活動の運営がより活性化し、生徒の技術の向上および心身の育成に大きな成果があった。

年 度	人 数	内 訳
H23	市8人	柔道2、卓球1、剣道1、ソフトテニス2、サッカー1、バスケットボール1
H22	市4人 県2人 国2人	柔道1、卓球1、剣道1、ソフトテニス3、サッカー1、バスケットボール1

3 中学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P.383

2001 中学校施設整備に要する経費 8,365,555円(11,935,350円)

[一財 8,365,555円]

○ 目的

各中学校の施設を整備し、教育環境の充実を図る。

○ 内容

工事請負費

工 事 名	内 容	工事費
施設管理営繕工事	各中学校の営繕工事	8,288,805円

○ 効果

各中学校施設の整備を行い、安全かつ快適な教育環境を提供することができた。

[担当：教育総務課] P.383

2101 中学校建設事業に要する経費 240,817,500円(521,619,000円)

〈240,817,500円〉※〈〉は、うち22年度繰越分

[国・県 101,682,000円〈101,682,000円〉 地方債 139,100,000円〈139,100,000円〉

一財 35,500円]

* 特財内訳

[国補：安全・安心な学校づくり交付金 〈28,865,000円〉]

取手東中学校体育館

地震補強

〈20,743,000×1/2+20,743,000×1/2×1% ≒10,474,000円〉

大規模老朽

$\langle 50,915,000 \times 1/3 + 50,915,000 \times 1/3 \times 1\% \approx 17,141,000 \text{ 円} \rangle$

大規模トイレ

$\langle 3,715,000 \times 1/3 + 3,715,000 \times 1/3 \times 1\% \approx 1,250,000 \text{ 円} \rangle$

[国補：公立学校施設整備費負担金 $\langle 72,817,000 \text{ 円} \rangle$]

取手東中学校校舎増築

$\langle 145,634,000 \times 1/2 = 72,817,000 \text{ 円} \rangle$

[市債：合併特例債 $\langle 139,100,000 \text{ 円} \rangle$]

取手東中学校体育館耐震補強工事・工事監理委託

取手東中学校校舎増築工事・工事監理委託

$\langle (2,362,500 + 70,980,000 + 4,725,000 + 162,750,000 - 28,865,000 - 72,817,000) \times 100\% \approx 139,100,000 \text{ 円} \rangle$

○ 目的

体育館耐震補強工事、校舎増築工事を行い、耐震性の確保と学校統廃合に伴う校舎増築を行い教育環境の充実を図る。

○ 内容

(1) 委託料

委託名	内容	工期	委託料
取手東中体育館耐震補強工事監理業務委託	体育館耐震補強工事の監理業務	H23.6.14～ H23.12.17	$\langle 2,362,500 \text{ 円} \rangle$
取手東中校舎増築工事監理業務委託	校舎棟増築工事の監理業務	H23.6.21～ H24.3.22	$\langle 4,725,000 \text{ 円} \rangle$

(2) 工事請負費

工事名	内容	工期	工事費
取手東中体育館耐震補強工事	体育館耐震補強工事	H23.6.17～ H23.12.10	$\langle 70,980,000 \text{ 円} \rangle$
工事名	内容	工期	工事費
取手東中学校校舎増築工事	校舎棟増築工事	H23.6.17～ H24.3.15	$\langle 162,750,000 \text{ 円} \rangle$

○ 効果

取手東中学校の体育館耐震補強工事を行い、耐震性能が確保されたとともに、学校統廃合に合わせ校舎増築工事を行い、生徒増加による教室不足を解消し、快適な学校生活を送れる教育環境の整備が図られた。

3 中学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課] P.385

2001 給食運営に要する経費 164,878,982 円 (163,589,747 円)

[その他 102,101,126 円 一財 62,777,856 円]

* 特財内訳

[諸収入：中学校給食代(自校分) 102,086,059 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 15,067 円]

○ 目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

○ 内容

(1) 臨時栄養士等賃金 3,415,389 円 (3 人)

(2) 委託料

項 目	内 容	金 額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	給食用エレベータ保守点検 (7 校)	847,770 円
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃 (5 校)	414,522 円
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃 (5 校)	870,450 円
給食室病虫害防除委託料	給食室の病虫害の防除 (7 校)	276,412 円
学校給食調理業務民間委託料	調理業務を民間の専門業者へ委託した。(5 校：取手一中、取手二中、永山中、戸頭中、取手東中)	49,640,850 円

○ 効果

栄養のバランスのとれた内容豊かな給食の提供及び給食環境の整備、環境衛生面での充実が図れた。

[担当：学務給食課] P. 387

2101 給食施設整備に要する経費 4,246,426 円 (2,905,672 円)

〈498,750 円〉※〈 〉は、うち 22 年度繰越分

[国・県 200,000 円 〈200,000 円〉 一財 4,046,426 円]

* 特財内訳

[国補：地域活性化・きめ細かな交付金 〈200,000 円〉]

○ 目的

給食室内の衛生管理を徹底強化するために施設の充実を図る。

○ 内容

備品整備	・給食室熱風消毒保管庫及びフライヤー (取手二中)	2,850,750 円
施設整備	・給食室手洗器修繕 (取手二中)	199,500 円
地域活性化・きめ細かな交付金事業	・給食室給水設備修繕 (戸頭中・取手二中)	〈498,750 円〉

○ 効果

給食室内の施設整備の充実及び環境衛生面での充実が図れた。

4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

[担当：学務給食課] P. 389

2001 幼稚園管理に要する経費 7,927,785 円 (8,554,121 円)

[その他 3,607,187 円 一財 4,320,598 円]

* 特財内訳

[使用料：市立幼稚園入園料 76,000 円]

[使用料：市立幼稚園保育料 3,492,500 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 38,687 円]

○ 目的

市立幼稚園を運営することにより、幼児教育の振興を図る。

○ 内容

市立幼稚園の入園、施設管理等の運営全般に要する経費である。

保育料（月）5,500円 入園料4,000円

年 度	4 歳児	5 歳児	合 計
H23	19 人	35 人	54 人
H22	35 人	35 人	70 人

○ 効果

市立幼稚園の適切な管理と運営により、質の高い幼児教育を提供することができた。

[担当：学務給食課] P. 391

2101 幼稚園保健衛生に要する経費 644,158円(654,619円)

[その他 7,290円 一財 636,868円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @135×54人=7,290円]

○ 目的

学校保健法に基づき、園児の定期健康診断を実施することにより、健康保持を図る。

○ 内容

- ・幼稚園嘱託医(1名)、歯科医(1名)、薬剤師(1名)の報酬
- ・園児健康診断委託 委託先：(社)取手市医師会

区分	尿	蟯虫
対象	全園児	全園児
H23	54人	54人
H22	70人	70人

○ 効果

定期検診を実施することにより、園児に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。

4 幼稚園費 2 幼稚園振興費

[担当：学務給食課] P. 391

2001 幼稚園就園奨励費補助関係経費 111,964,467円(108,281,884円)

[国・県 26,695,000円 一財 85,269,467円]

* 特財内訳

[国補：幼稚園就園奨励費補助金 補助対象経費 111,964,467×1/3 以内≒26,695,000円]

○ 目的

取手市幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に基づき、園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園を奨励し幼児教育の振興を図る。

○ 内容

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
生活保護世帯	0人	0人	0人	0人	0人
市民税非課税世帯	3人	25人	37人	40人	105人
市民税所得非課税世帯	1人	7人	19人	9人	36人
所得割課税 34,500円以下	6人	38人	55人	51人	150人
所得割課税 183,000円以下	23人	245人	312人	277人	857人
合 計	33人	315人	423人	377人	1,148人

○ 効果

園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園奨励及び幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 391

2002 幼稚園児保育料補助関係経費 41,525,982円 (41,901,212円)

[一財 41,525,982円]

○ 目的

幼児教育の振興を図るため、保護者に対して保育料の一部を補助し、幼児教育に係る経済的負担を軽減する。

○ 内容

対象者：取手市在住で私立幼稚園に在園する満3・3・4・5歳児の保護者

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
月額2,500円	46人	386人	516人	490人	1,438人

補助額 41,457,500円

○ 効果

保護者の保育料に対する経済的負担を軽減し、幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 391

2003 幼稚園施設運営費補助関係経費 2,970,000円 (2,970,000円)

[一財 2,970,000円]

○ 目的

幼児教育環境の充実と、設置者及び保護者の経済的負担の軽減を図る。

○ 内容

幼稚園の施設を整備するにあたり、私立幼稚園の設置者に対して費用の一部を補助した。

1園につき 270,000円×11園

○ 効果

幼児教育の施設及び設備の充実が図られ、また、私立幼稚園及び保護者の経済的負担軽減に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 391

2004 幼稚園障害児保育補助関係経費 1,310,000 円 (880,000 円)

[一財 1,310,000 円]

○ 目的

障害児保育の振興を図る。

○ 内容

障害児が在園している私立幼稚園の設置者に対して、補助金を交付した。

・障害児 1 人につき 年額 110,000 円 ・対象園児 12 人

○ 効果

私立幼稚園の設置者に対し補助金を交付することにより、障害児保育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 393

2006 幼稚園預かり保育助成事業関係経費 686,924 円 (718,560 円)

[一財 686,924 円]

○ 目的

私立幼稚園における幼児教育の振興を奨励し、その充実及び向上を図る。

○ 内容

夏季休業日に預かり保育を実施した私立幼稚園の設置者に対して、補助金を交付した。 実施園 9 園 @774 円×1,775h×1/2≒686,924 円

○ 効果

私立幼稚園の設置者に補助金を交付することにより、幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 393

2007 幼稚園共済掛金補助関係経費 155,385 円 (172,530 円)

[一財 155,385 円]

○ 目的

私立幼稚園の災害共済掛金を補助し、幼児の福祉増進を図る。

○ 内容

日本スポーツ振興センター災害共済掛金を納付している私立幼稚園に対して、掛金の 1/2 の額を補助する。 私立幼稚園 @135×1,151 人=155,385 円

○ 効果

私立幼稚園に補助することにより、幼児の福祉増進と幼児教育の振興に寄与することができた。

5 社会教育費 1 社会教育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 395

2001 成人式に要する経費 2,077,500 円 (1,945,000 円)

[一財 2,077,500 円]

○ 目的

成人に達した若者の新たな門出と今後の活躍を願い、式典を開催することで祝福

する。

○ 内容

平成 23 年度新成人の該当者の中から市内各公立中学校の推薦を受け、実行委員会を組織し、成人式の企画・運営を委託事業として実施した。

年 度	性別	対象者(人)	参加者(人)	出席率(%)
H23 (H24. 1. 8 実施)	男	585	425	72. 7
	女	484	361	74. 6
	計	1, 069	786	73. 5
H22 (H23. 1. 9 実施)	男	534	388	72. 7
	女	512	358	69. 9
	計	1, 046	746	71. 3

○ 効果

成人式実行委員会に式典の進行やアトラクション等の企画・運営を委託することで、熱心に意見交換を行い、工夫を凝らした式典が実施できた。さらに記念冊子の編集作業を担当してもらうことで良い記念となる冊子の作成ができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 395

2201 生涯学習推進に要する経費 2, 154, 790 円 (2, 206, 858 円)

[その他 309, 500 円 一財 1, 845, 290 円]

* 特財内訳

[諸収入：受講者負担金 309, 500 円]

○ 目的

生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、各分野にわたる学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興を図ることを目的とする。

○ 内容

(1) 生涯学習フェスティバル

生涯学習活動を実践している団体やサークルによる体験教室や活動発表などを通じて、幅広い世代間の交流と学びの場を提供するため、藤代スポーツセンターを会場にネットワークフェア 2011 と同時開催で実施した。

実施コーナー	実施内容	参加人数
ものづくり教室	身近なものを加工してものづくりに挑戦 牛乳パックのキャンディボックスとブーメランづくり	約 150 人
昔あそびコーナー	昔の遊び（お手玉・おはじき・びーだま・ベーゴマ・あやとりなど）体験	約 200 人

(2) 出前講座

市民が「知りたい・聞きたい・学びたい」という内容をリーダーバンク登録者及び市職員が講師となって地域へ出向き講座を実施した。

派遣分野	H23		H22	
	件数	延べ受講者数	件数	延べ受講者数
リーダーバンク編・登録指導者	10	290 人	10	336 人
行政編・職員等派遣	49	1, 582 人	43	1, 597 人

(3) 市民大学講座

市民がだれでも参加できる教養・専門講座「市民大学」を開講し、法律から歴史・文学まで専門的な知識を持った講師を迎えて、中長期的な講座を開講した。

講座名	開催日	受講者
やさしく学ぶ取手と藤代のあゆみ	1/12 ～ 3/8 (全5回)	44人
わかりやすい源氏物語	2/7 ～ 3/6 (全5回)	63人
知って得する相続入門	2/20 ～ 3/19 (全5回)	34人

(4) とりで学遊プラザリーダーバンク

生涯学習に関する各種人材(指導者)の登録派遣制度

リーダーバンク登録者 211人(平成24年3月31日現在)

(5) 農業ふれあい体験事業

委託料 220,000円(取手市子ども地域活動促進事業実行委員会へ委託)

親子米づくり体験講座

市内全小学校の希望者を対象に、親子で田植え、稲刈りの体験学習を実施した。

事業名	実施日	場所	参加者
親子米づくり体験講座	5/14(田植え)	農業 ふれあい 公園	親子355人 (うち台東区民27人)
	7/9(自然観察会)		
	9/10(稲刈り)		

(6) 家庭教育学級

市立幼・小中学校の親を対象に、家庭での教育力の向上及び親同士のコミュニケーションを図る場として家庭教育学級を設置し、社会教育指導員の指導により各学級単位の活動及び全体学習会を実施した。 28学級 参加人数1,395人

○ 効果

生涯学習フェスティバルでは、活動を実践している団体の体験教室に於いて幅広い世代に対して、交流と学びの場を提供することができた。また、親子米づくり体験講座では、親子での自然体験の活動機会を提供し、学校外活動の充実を図ることができた。

出前講座では、行政に対する理解と市民の生涯学習意欲の向上に加え、市内の各種能力・知識等を持った人材の活用を推進できた。

家庭教育学級では、「子育てと仲間づくり」をテーマに、親の学びの場として、子育てに関する情報提供や読み聞かせ、食育、子育て講話、健康づくり、研修視察等様々な学習会を開催し、家庭での教育力の向上を図った。

[担当：文化芸術課] P.397

2801 市民芸術活動の推進に要する経費 3,611,482円(3,348,772円)

[その他 2,140,000円 一財 1,471,482円]

* 特財内訳

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 2,140,000円]

○ 目的

市民の文化活動及び芸術活動を援助するとともに、文化事業を推進し、市民文化の向上と発展に寄与する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	来場者数
第40回 文化祭 (取手地区)	11/3, 5, 6 (3日間)	取手地区の文化祭を取手市文化連盟に委託。 市民が日頃行っている文化活動を集約し、技芸・展示に分けて発表した。 会場：取手市立市民会館・取手市立福祉会館 委託料：1,000,000円	9,023人
平成23年度 取手市藤代 文化祭	10/9～11/27の 土日(10日間)	藤代地区の文化祭を取手市藤代文化協会に委託。作品展、体験型催事及び部門発表を開催した。 会場：藤代公民館 委託料：500,000円	2,970人 (参加者含む)
2011 取手美術 作家展	6/4～6/15 (12日間)	身近な郷土作家による作品展を取手美術作家展に委託して開催した。33名46点出品。 東日本大震災復興支援チャリティー展。 ギャラリーコンサート、一般向けギャラリーツアー、市内小中学生向けギャラリーツアー(3日間)実施。 会場：とりでアートギャラリー「きらり」 委託料：640,000円	2,340人
第42回 取手市 美術展	10/28～12/5 (33日間)	第1部 洋画、彫刻、デザイン 85点 第2部 日本画、写真、書、工芸 99点 第3部 小中学生、特別支援学級 1,119点 会場：とりでアートギャラリー「きらり」 報償費・需用費：345,992円	4,442人

(2) 市内の文化団体への補助金交付

団体名	補助金額	目的
取手市文化連盟	488,000円	団体の運営補助
取手市藤代文化協会	210,000円	団体の運営補助
取手少年少女合唱団	80,000円	一般公募補助事業新規採択
国際音楽の日コンサート	100,000円	一般公募補助事業新規採択

○ 効果

文化事業は恒例事業であるが、主催者が内容を工夫し、来場者数は増加している。また、各文化団体への補助金は市民の文化活動の活性化に寄与している。

[担当：文化芸術課] P. 397

2901 市民会館・福祉会館管理運営に要する経費 81,166,790円(80,291,228円)

[一財 81,166,790円]

○ 目的

取手市の産業・経済・文化・教養の向上と市民の福祉増進及び住民生活の向上を図るため、市民会館及び福祉会館を設置している。

○ 内容

(1) 需用費(修繕料) 609,000円

修繕名	内容	工期	金額
市民会館映写機修繕	映写機部品交換	11/12～11/18	262,500 円
市民会館フェンス修繕	フェンス交換	12/12～1/31	346,500 円

(2) 委託料

平成 18 年度から市民会館・福祉会館の管理運営に指定管理者制度を導入している。

指定管理者：(財) 取手市文化事業団

指定管理委託料：78,700,000 円

年度	施設名	使用件数	入場者数	稼働率 (使用件数/使用可能日数)
H23	市民会館	83 件	35,696 人	50.9%
	福祉会館	7,980 件	150,908 人	63.7%
H22	市民会館	152 件	53,905 人	50.0%
	福祉会館	8,481 件	157,583 人	61.8%

(3) 使用料及び賃借料 (照明機器リース料) 1,260,000 円

舞台用ピンスポットライトを 5 年間リース。

(4) 工事請負費 420,000 円

工事名	内容	工期	金額
市民会館仮設非常用発電設備設置工事	仮設非常用発電設備設置	2/16～2/29	420,000 円

○ 効果

施設の適切な管理運営を行うことにより、文化活動の拠点として、市民の文化振興に寄与した。

[担当：文化芸術課] P. 399

3001 東京芸術大学との交流に要する経費 4,652,861 円 (3,608,485 円)

[その他 2,446,000 円 一財 2,206,861 円]

* 特財内訳

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 2,446,000 円]

○ 目的

市内に東京芸術大学のキャンパスがあるという環境を活かし、市民と東京芸術大学との交流を深め、芸術的感性や知識を培い、文化・芸術の振興を推進する。

○ 内容

(1) 東京芸術大学卒業・修了作品展における取手市長賞

市長賞賞賜金：1,000,000 円 (500,000 円×2 人)

第 60 回東京芸術大学卒業・修了作品展において優秀作品 2 点(工芸)に市長賞を授与した。受賞作品は福祉交流センターロビーと本庁舎ロビーに展示した。

種類	作品名	作者
工芸 (彫金)	be cute(ビークュート)	刑部 有里
工芸 (ガラス造形)	月と君と	石田 菜々子

(2) 市内小中学校と東京芸術大学との文化交流

指導者謝礼：2,304,000 円 (東京芸術大学美術学部及び音楽学部学生等)

東京芸術大学の学生等が、交流を希望した市立小中学校で美術又は音楽の指導を行った。

- ・美術：小学校の授業で児童に絵画技法等を指導した。(交流校 15 校)
 - ・音楽：中学校の吹奏楽部活動で生徒に演奏技法を指導した。(交流校 7 校)
- (3) 東京芸術大学音楽学部学生によるふれあいコンサート

出演者謝礼：144,000 円

開催日	会場	内容	出演者数	入場者数
7/10 (日)	藤代公民館	木管五重奏	5 人	120 人
12/17 (土)	福祉交流センター	弦楽四重奏	4 人	260 人

- (4) 国際陶芸シンポジウム 2011 における陶芸教室と野焼き

負担金：1,000,000 円 (東京芸術大学)

東京芸術大学主催の「国際陶芸シンポジウム 2011 in Japan」の一環として、各国の大学教授や学生が取手東中学校の生徒に陶芸の実技指導をし、国際文化交流を図った。

○ 効果

東京芸術大学との文化交流は、近隣市町村にはない特色ある貴重な事業である。身近に質の高い芸術に触れられるため、市民、児童生徒及び学校関係者に大変好評であり、文化・芸術の振興及び技術の向上を図ることができた。

[担当：文化芸術課] P. 399

3301 アートのあるまちづくりの推進に要する経費 19,648,797 円 (8,636,074 円)

[国・県 3,000,000 円 その他 12,086,619 円 一財 4,562,178 円]

* 特財内訳

[県補：新しい公共の場づくり提案型モデル事業県補助金 3,000,000 円]

[諸収入：井野アーティストヴィレッジ利用料 4,485,619 円]

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 4,401,000 円]

[諸収入：芸術環境づくり助成金 3,200,000 円]

○ 目的

新たな視点に立った文化事業を実施し、取手市から全国へ、文化の発信を行う。東京芸術大学のキャンパスが市内にあるという環境を活かして、東京芸術大学の知識、技術、手法などを活用した他市町村にはない、文化・芸術によるまちづくりの推進を図る。

- (1) ストリートアートステージ

○ 内容

委託料：4,000,000 円 (東京芸術大学工芸科・彫刻科)

街の様々な場や空間を利用して、街そのものを美術館化していく「タウンミュージアム構想」の一環として取手駅東口の歩道に設置されたストリートアートステージに東京芸術大学工芸科・彫刻科に委託した 16 作品を設置している。

○ 効果

ストリートアートステージは、散歩や通勤通学の途中で何気なくアートに触れられる屋外のアートギャラリーとして、芸術を身近に感じ、無機質な街並みにアクセントを加え、道ゆく人々の目を和ませているほか、独自の芸術文化の育成に貢献している。

(2) 取手の芸術活動連携サポート事業

○ 内容

委託料：700,000円（NPO法人取手アートプロジェクトオフィス）

市で行われる芸術活動をまちの地域資源として捉え、芸術文化団体のアート活動を資金面、広報発信面で支援した。

① アーティストの活動支援事業（11団体）

② 「とりでアートの日。」と題したとりでアートギャラリーを会場としたワークショップ事業（13本）

○ 効果

この事業をとおして取手を舞台に活動する芸術文化団体がそれぞれの活動を連携して発信することで市民の芸術体験の機会が増え、取手がより芸術に親しめる街として効果をあげた。

(3) 取手アートプロジェクト

○ 内容

補助金：3,240,000円（NPO法人取手アートプロジェクトオフィス）

取手アートプロジェクト（TAP）は、平成11年度より市民・東京芸術大学・取手市の三者が連携協力して、地域の特色を活かした芸術活動を行なっているプロジェクトである。

平成23年度テーマ	半農半芸・アートのある団地
開催期間	通年の土曜・日曜
内容	・「半農半芸ドキュメント展+フォーラム」来場者数311人 ・「カメラ・タッピーノ」団地内事務所をカメラオブスキュラで作品化 ・「団地の外の声を聴く」プロジェクト等開催

・継続事業の主な活動概要

① こどもプログラム

いちねんせいのさくひんてん 概要

テーマ	そだててみたいなこなたね
開催期間	12/9～12/26
会場	とりでアートギャラリーきらり
内容	市内小学校に通う1年生全員（約900人）による作品展

その他、学校へのアーティスト派遣事業（開催校：9校）ほか

② 環境整備プログラム

「ガスタンクカメラオブスキュラプロジェクト」東日本ガス社の球形ガスタンクをカメラオブスキュラ化するプロジェクト

③ 国際交流事業

ニュージーランドのキュレーターを日本に招聘するアーティストレジデンス
2/1～2/28の期間滞在。

○ 効果

取手アートプロジェクトは、昨年従来からのフェスティバル型から通年型のプロジェクトに移行した。その過程で長期的な視野に立つ企画の枠組みとして「アートのある団地」と「半農半芸」の2つの軸でプロジェクトを展開。取手アートプロジェクト

を支えるスタッフの自主的で個性的な企画運営は、評価される場所である。当事業はアートのまち、アーティストの集まるまちとして取手市に潤いをもたらしている。

(4) 新しい公共の場づくり提案型モデル事業

○内容

「平成23年度茨城県新しい公共の場づくりのための提案型モデル事業」で採択され、助成を受けた事業。井野団地多世代交流見守り拠点「いこいの・たっぴーの」の運営、同拠点を中心としたアーティストプログラムの実施。

(5) 地域の芸術環境づくり助成事業

○内容

財団法人自治総合センター「平成23年度コミュニティ助成事業「(地域の芸術環境づくり助成事業)」で採択され、助成を受けた事業。「半農半芸～郊外都市におけるアーティストと地域の共生プログラム～」の実施。

(6) 井野アーティストヴィレッジ

○内容

東京芸術大学と市が連携し、長らく空き店舗となっていた井野団地ショッピングセンターにある一棟をUR都市再生機構より借り受け、東京芸術大学卒業生や若手アーティストのための「共同アトリエ」として一定期間賃貸提供する。

- ・UR都市再生機構から市が建物を借り、それを東京芸術大学が中心となって募集した若手アーティストにアトリエとして貸し出す
- ・東京芸術大学が7戸の施設整備費を負担
- ・7戸のうち1戸は東京芸術大学が管理のため利用し、市が家賃を負担
- ・1戸につき2名以上、利用期間2年
- ・地域との交流及びオープンスタジオへの参加が条件
- ・賃借人数

スタジオ名	101 (管理運営)	102	103	104	105	106	107
賃借人数	2人	4人	5人	5人	4人	5人	4人

○効果

27名のアーティストが各アトリエにおいて創作活動を行った。101号室で月毎に作品を入れ替え、ウインドーギャラリーとしてオープン展示をした。空き店舗を利用し地域の活性化を図り、芸術によるまちづくりの推進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 401

3501 IT基礎技術講習会に要する経費 444,990円

[一財 444,990円]

○目的

IT講習会の内容充実と市民の情報収集・発信能力の向上に努める。

○内容

IT講習会で使用してきたパソコンは購入から10年以上が経過し、老朽化と旧式化が著しくなり、講習会の運営に支障をきたしていたため、藤代公民館と寺原公民館の2館のパソコンを入れ替えた。

<リース期間：平成23年7月1日～平成28年6月30日（5年間）>

- ・藤代公民館（受講生用18台＋指導者用1台）計19台

・寺原公民館（受講生用 18 台＋指導者用 1 台）計 19 台

○ 効果

最新のパソコンで学習することで学習効率が高められ、多くの受講生の技術向上に寄与した。

[担当：文化芸術課] P. 401

3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 6,806,186 円 (6,328,216 円)

[その他 429,600 円 一財 6,376,586 円]

* 特財内訳

[使用料：アートギャラリー使用料 331,000 円]

[使用料：市民ギャラリー使用料 98,600 円]

○ 目的

郷土作家、市民及び行政が一体となり創り上げたギャラリーにおいて、芸術作品の発表の場として、さらには文化・芸術交流の場として幅広い活動を展開する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	入場者数
世界にひとつの アート傘展	5/1～5/15	JOBAN アートライン協議会の事業として平成 22 年 10 月 16 日に開催した「JOBAN アートアンブレラ in 北千住」で東京芸術大学生がライブペイントしたアート傘 111 本を展示。	325 人
国境に暮らす先 住の民・クルド 松浦範子写真展	7/12～ 7/25	市内在住の写真家がクルド民族の背負う苦難の現実と一人ひとりが生きる等身大の姿を撮影した写真を展示。ギャラリートークも開催。	531 人
にこにこ元気な とりでっ子！	7/30～ 8/31	市内の公立、私立保育所（園）15 カ所に通う 4 歳児、5 歳児の絵画約 600 点を合同で展示。合わせて 4 カ所の子育て支援センターの取り組みを紹介した。（第 2 回）	1,431 人
とりでアートの 日。	8/1～8/31	市内の芸術家 11 団体が幼児から大人まで楽しめるワークショップを 13 本開催した。	135 人
グラフィカ写真 展	1/6～1/15	郷土茨城をテーマに追及してきた写真家集団グラフィカの写真展。今回のテーマは県内で活躍する人びとを追った「第一線に生きる」。	180 人
小中学生児童生 徒作品展	1/27～ 2/12	市内小中学生による絵画、書写、科学研究・発明工夫、統計グラフ（県展入選作品を含む）の優秀作品展。	1,484 人

(2) アートギャラリーきらり貸出実績

期間	展示名
4/12～4/18	東日本銀行 OB 展
5/17～5/22	加藤邦元日本画展
5/24～5/30	第 19 回絵を描く仲間達展
6/19～6/25	いばら会パステル画展
6/28～7/3	パッチワーク瑠璃のみんなの作品展

9/6～9/12	フォトパソコンクラブ水城高校写真部コラボ写真展
9/15～9/21	松田朝旭個展
10/1～10/6	遊空間で暮らす・創る芸術家田中可伸展
10/12～10/18	全日本写真連盟取手支部展
10/20～10/23	MOA 美術館茨城県児童作品展
12/9～12/26	いちねんせいのさくひんてん
1/18～1/24	取手水彩画クラブ展
2/15～2/21	第31回取手洋画クラブ展
2/25～3/4	半農半芸ドキュメント展
3/7～3/13	新出紀久雄と水彩画の仲間達展/第10回萌黄の会写真展
3/17～3/25	茨城県南書展
3/29～4/4	16人+αの写真展

(3) 市民ギャラリーの管理

市民の発表の場として、取手駅東西連絡地下道及び藤代駅橋上自由通路にある市民ギャラリーの貸し出しを行なった。

・利用件数

ギャラリー名	H23 年度	H22 年度
取手駅市民ギャラリー	57 件	57 件
藤代駅市民ギャラリー	31 件	37 件

○ 効果

郷土作家や市民による作品等の発表及び鑑賞並びに文化の交流の場を市民に提供し、文化・芸術の振興に寄与できた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 401

3801 放課後児童対策事業に要する経費 180,347,516 円 (126,001,651 円)

〈500,000 円〉※〈 〉は、うち 22 年度繰越分

[国・県 34,116,000 円 〈500,000 円〉 地方債 49,700,000 円 その他 35,639,893 円
一財 60,891,623 円]

* 特財内訳

[国補：地域活性化・きめ細かな交付金 〈500,000 円〉]

[県補：放課後児童対策事業補助金

放課後子ども教室推進事業補助金 @20,531,604×2/3≒13,687,000 円

放課後児童健全育成事業補助金 @29,744,000×2/3≒19,829,000 円]

[県補：子育て支援対策臨時特例交付金 100,000 円]

[市債：合併特例債 49,700,000 円]

永山小放課後子どもクラブ室改築工事・工事監理委託

52,328,514×95%≒ 49,700,000 円

[負担金：放課後児童対策事業保護者負担金 32,327,500 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 2,641,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担金 671,393 円]

○ 目的

市内の小学校に通う全児童を対象として、学校施設等を利用して、遊びや体験学習などで自主的に過ごせる場所を設け、子どもの健全育成を図る。

また、きめ細かな交付金により吉田小学校・戸頭東小学校の子どもクラブ室を整備し、施設の充実を図る。

○ 内容

子どもの居場所づくり事業と児童クラブ事業を一体化し、平成 20 年度から「放課後子どもクラブ」として市内全小学校 18 校で開設している。

放課後や夏休み等の長期休業中に、小学校 1 年生から小学校 6 年生を対象に、安全で安心な子どもの活動拠点を小学校に設け、児童の健全育成を図る児童クラブと一体化した形で、様々な体験活動を行うなど、総合的な放課後児童対策事業として実施した。

学習アドバイザーの活用や各種ボランティアとの交流など内容の充実に努めた。

(1)放課後子どもクラブ登録児童数（通常利用登録者）

平成 24 年 3 月 1 日現在（単位：人）

小学校名	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	合 計
取 手 小	20	39	42	14	12	4	131
白 山 小	35	35	35	18	16	5	144
小文間小	5	2	7	2	5	1	22
寺 原 小	42	30	26	14	10	0	122
永 山 小	31	31	21	15	4	3	105
井 野 小	16	17	16	21	9	5	84
白山西小	8	13	11	4	9	2	47
戸頭西小	21	27	16	20	6	17	107
吉 田 小	16	23	20	3	11	2	75
戸頭東小	44	31	24	19	3	7	128
稲 小	15	18	21	14	5	3	76
高 井 小	11	6	7	4	2	3	33
山 王 小	10	13	9	7	7	12	58
六 郷 小	13	27	18	5	10	5	78
藤 代 小	32	21	33	11	6	2	105
宮和田小	19	35	13	22	10	3	102
久 賀 小	22	20	14	12	2	3	73
桜が丘小	30	30	15	14	3	3	95
合 計	390	418	348	219	130	80	1,585

(2)工事請負費

工 事 名	内 容	工 期	工事費
永山小学校放課後子どもクラブ室改築工事	永山小学校の改築に伴い、クラブ室を改築する。	H23. 5. 31 ~ H24. 3. 15	50,941,640円
吉田小学校子どもクラブ室前転落防止柵設置工事	子どもクラブ室前の縁側と校庭に大きな段差がある為、柵を設置して転落等を防止する。	H23. 7. 21 ~ H23. 9. 30	〈966,000円〉
戸頭東小学校子どもクラブ室防犯灯設置工事	子どもクラブ室への児童の迎えを行う保護者が利用する駐車場に外灯がなく危険である為、夜間の安全を考慮し設置する。	H23. 8. 12 ~ H23. 8. 31	〈61,950円〉

○ 効果

児童の健全育成のために貢献する事ができた。また、全学年・全児童を対象とした事で異学年間の交流も図ることができた。

吉田小学校・戸頭東小学校の子どもクラブ室の整備を行い、安全かつ安心できる環境を提供することができた。

5 社会教育費 2 公民館費

[担当：公民館] P.405

0501 公民館事務に要する経費 54,361,135 円 (83,488,011 円)

〈2,338,350 円〉 ※ 〈 〉 は、うち 22 年度繰越分

[国・県 1,300,000 円 〈1,300,000 円〉 その他 8,904,376 円 一財 44,156,759 円]

* 特財内訳

[国補：地域活性化・きめ細かな交付金 〈1,300,000 円〉]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 3,100,000 円]

[諸収入：六郷公民館倉庫・フェンス弁償金 50,850 円]

[諸収入：コピー使用料 478,128 円]

[諸収入：電話通話料 3,930 円]

[諸収入：市民総合賠償保険金 10,000 円]

[諸収入：電気使用状況モニター 10,500 円]

[諸収入：公民館光熱水費使用料 3,628 円]

[使用料：公民館使用料 5,247,340 円]

○ 目的

公民館施設の適切な管理運営と施設整備を行うことにより、市民の利用環境の充実を図る。

○ 内容

主な修繕・工事	・相馬南公民館洋式トイレ修繕	〈259,350 円〉
	・井野公民館空調機更新工事	1,446,900 円
	・高須公民館空調機更新工事	〈2,079,000 円〉

○ 効果

相馬南公民館のトイレの一部を洋式化し、利用者の利便性を図った。
老朽化による機能損失の著しい高須公民館並びに井野公民館の空調機器を更新し維持管理費用の軽減を図った。

[担当：公民館] P.409

2101 公民館活動に要する経費 1,444,412 円 (1,655,557 円)

[一財 1,444,412 円]

○ 目的

公民館は、地域住民にとって最も身近な学習拠点として、教養の向上、生活文化の振興、社会福祉の増進等に寄与し、自主的な学習活動及び交流の場として重要な役割を担う。そのため、地域の特色を生かした事業を展開し、地域の振興を図る。

○ 内容

(1) 公民館各種事業

市内 14 公民館において、多様化する住民の学習ニーズ、高度化する学習内容に対応した活動の充実を図るため、それぞれの世代を対象にした講座、講演会及び子どもふれあいスクール事業などの公民館事業を展開した。

対象	事業名	期 間	回数	受講者数(人)	事業内容及び結果
青少年	おもしろ理科実験先生教室	7月	1	70	理科の実験の楽しさを学習した。戸頭公民館にて、戸頭子どもふれあい広場と共催。
	戸頭子どもまつり	7月	1	420	レクリエーションを通じて地域の子どもの交流を図る。
	平和映画会	7～8月 7館	4	197	総務課と共催。平和映画を鑑賞することにより、戦争の悲惨さ、平和の大切さを学ぶ。
	サマースクール	7～8月 5館	7	118	子供クッキング、革工芸、トールペイント、工作、竹トンボ作り等の講座を実施した。
	アートな傘作り	8月	1	17	ビニール傘に絵を書き、自分だけの素敵な傘作りを行った。
	子どもふれあいスクール事業他	8～1月	4	275	ふれあい広場、新春子どもの集い等世代間交流事業を開催。
	クリスマス人形劇	12月	1	150	劇団どんぐりによるクリスマス公演を開催した。
	クリスマスケーキを作る	12月	1	43	クリスマスケーキ作りを楽しく学ぶ。戸頭公民館にて、戸頭子どもふれあい広場と共催。
	たこあげ大会 たこ作り教室	1月	1	45	正月の風物詩であるたこあげ大会とたこ作り教室を開催。
	むかしあそび	2月 2館	2	160	ベーゴマやあやとり、折り紙などの昔の遊びを中心に、今の遊びやゲームなどを行った。
	抹茶の点て方体験講座	3月	1	7	公民館まつりお茶席会場での体験講座。抹茶の点て方を学ぶ。
レザークラフト体験講座	3月	1	17	公民館まつりでの体験講座。皮工芸でパスケースの作成。	
婦人	婦人学級	年間	各学級 11～12	1学級 15人～44人 8学級(218人)	出会いを大切に視野を広げ、楽しく学習しながら心豊かな人間性を高めた。
高齢者	高齢者学級	年間	各学級 11～12	1学級につき 21人～103人 3学級(164人)	敬愛される高齢者を目指して、健康・趣味・奉仕活動等を積極的に行い、物の見方や考え方、生きがいを見い出した。
	藤代学園	年間	10	713	学習、趣味活動を通じて、社会情勢への円滑な適応を図った。
	輪投げ大会	8月	1	33	高齢者で、輪投げ大会をし交流を深めた。

成人	ふるさと講座	5~11月 2館	6	175	郷土に関することの学習を通し、郷土愛と交流を深めた。
	グリーンカーテン張	6月	1	8	節電対策の一環として、庁舎に設置した。
	着付け	6~12月 2館	3	25	ゆかたや、正月の着物の着付けを学習した。
	伝承遊び	10月	1	8	昔ながらの紙ひこうきを新聞紙等で作り、山王小学校で飛ばした。
	お父さんのつどい お母さんのつどい	10月	1	39	高須地区のお父さん、お母さんの研修視察を行い、交流を図る。
	そば打ち	11~1月 3館	3	55	自分でそばを打つ楽しさと秋の味覚を楽しんだ。
	しめ飾り講座	12月 8館	9	255	伝統的な「しめ飾り」を手作り体験した。
一般	さつき展	5月	1	53	地域住民によるさつきの展示で地域の親睦を深めた。
	ソフトボール大会	6~10月 3館	3	310	ソフトボールの振興と地域親善を目指し、互いに交流を深めた。
	親子ふれあい フェスティバル	8月	1	170	親子を対象に、流しそうめん大会や、すいか割り等を高須公民館で実施した。
	夏まつり	8月 2館	2	1,050	夏の風物詩の盆踊り、模擬店等で、地域の親睦を深める。
	運動会	9~10月 3館	3	810	小文間、六郷、山王は小学校と合同。
	ゲートボール会 大	10月 2館共催	1	45	健康増進と地域の親睦を目指し、交流を深めた。 (戸頭・永山共催)
	ペタンク大会	10月	1	40	スポーツ(ペタンク)を通じて、各世代間の交流を図った。
	菊花展	11月	1	78	地域住民による菊の展示で地域の親睦を深めた。
	クリスマス コンサート	12月	1	150	地域の音楽家による、みんなで楽しめるコンサートを開催。
	やさしい手相入門	2月	1	40	手相学の基本など占い全般を楽しく学んだ
	ファミリー ウォークラリー	2月	1	300	相馬南公民館まつりと同時開催。家族や仲間と地図を片手に歩くゲームを開催した。
	公民館まつり	2~3月 12館	12	6,261	作品展示や催しもの等、公民館で活動する団体による発表と地域交流の場を提供した。

(2) 各公民館利用状況

公民館名	年度	開館日数(日)	利用件数(件)	延べ利用者数(人)
中央公民館	H23	343	福祉会館との複合施設のため独自の算出はなし	
	H22	343		

小文間公民館	H23	335	1,570	17,186
	H22	325	1,195	11,814
永山公民館	H23	335	2,814	43,866
	H22	325	1,723	24,536
寺原公民館	H23	336	2,297	36,808
	H22	325	1,984	29,299
井野公民館	H23	339	4,729	93,373
	H22	325	2,783	45,247
戸頭公民館	H23	339	4,105	80,495
	H22	325	2,729	39,911
白山公民館	H23	335	3,001	62,575
	H22	325	1,957	35,336
藤代公民館	H23	340	2,748	54,022
	H22	325	2,527	45,399
山王公民館	H23	335	596	6,450
	H22	319	637	6,850
六郷公民館	H23	335	1,009	14,892
	H22	325	994	12,622
相馬公民館	H23	335	1,042	12,620
	H22	325	1,049	13,305
相馬南公民館	H23	309	1,268	18,311
	H22	316	1,225	15,851
高須公民館	H23	323	408	4,968
	H22	316	396	5,014
久賀公民館	H23	335	945	12,218
	H22	325	853	9,605
計	H23		26,532	457,784
	H22		20,052	294,789

23年度から集計方法を統一、22年度からの有料化制度導入に伴い、部屋の利用があったかどうかの観点から利用状況を集計することとした。

○ 効果

地域の環境により、学級講座等の事業内容をそれぞれ特色のあるもので充実を図ったことで、大切な地域の拠点である公民館で、まちづくりや人づくりを推進させることができた。

5 社会教育費 3 図書館費

[担当：図書館] P.411

2001 図書館管理運営に要する経費 21,875,799円 (21,758,447円)

[その他 838,950円 一財 21,036,849円]

* 特財内訳

[諸収入：市有物件災害共済金 838,950 円]

○ 目的

図書館の利用者に安全で快適な場・空間を提供し、生涯学習活動の拠点として、市民の教育・文化の発展に寄与する。

○ 内容

自由で公平な資料提供を中心とする奉仕活動を行うため、適切な図書館施設の維持管理を行う。

23 年度は、ふじしろ図書館が窓ガラス破損を被ったため、窓ガラス修繕分 691,950 円、修繕に伴う書架移動工事分 147,000 円、合計 838,950 円を市有物件災害共済金歳入として受け入れた。

○ 効果

施設の維持、修繕等を行うことにより、快適な図書館環境の提供が図れた。

[担当：図書館] P.411

2101 図書館活動に要する経費 46,366,337 円 (43,320,157 円)

[その他 235,244 円 一財 46,131,093 円]

* 特財内訳

[諸収入：コピー使用料 151,570 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 76,954 円]

[諸収入：電話登録料還付金 6,720 円]

○ 目的

市民の多様化するニーズに対応すべく、読書環境の整備と奉仕活動の強化に努め、利用者へのより質の高いサービスと文化的で有意義な図書館資料の提供を図る。

○ 内容

(1) 主な事業

- ・子育て支援 ブックスタート事業 (年間 34 回 680 冊)
幼児・児童向け読み聞かせ (のべ 35 回開催 参加者 421 人)
- ・学校との連携 学校図書館への支援 (司書教諭との合同会議及び研修 2 回)
学校訪問お話し会 (市内小学校 18 校 3・6 年生対象 1,244 人)
- ・図書館だより ライブラリープラス (5 回発行)、ほんバナ (4 回発行)
- ・図書館まつり 取手図書館 (7/17 1,446 人)
ふじしろ図書館 (4/17~18 3,700 人)

(2) 登録者数

(単位：人)

年齢別 登録者数	0～ 6 歳	7～ 12 歳	13～ 15 歳	16～ 18 歳	19～ 22 歳	23～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60 歳 ～	合計
H23	707	2,881	2,206	2,135	2,565	4,332	7,117	5,795	4,273	11,188	43,199
H22	715	3,062	2,298	2,279	2,826	4,677	7,673	5,975	4,565	11,279	45,349
H21	694	3,064	2,283	2,161	2,679	4,302	7,204	5,367	4,573	10,081	42,408
H20	676	3,191	2,398	2,427	3,019	4,490	7,796	5,724	4,960	9,506	44,187
H19	601	3,308	2,421	2,550	3,799	6,726	10,055	6,422	6,359	10,496	52,737

(3) 利用状況

・入館者数

館名	入館者数(単位:人)				
	H23	H22	H21	H20	H19
取手図書館	170,614	182,309	190,857	182,250	187,056
ふじしろ図書館	198,107	190,921	189,824	180,667	184,632
合計	368,721	373,230	380,681	362,917	371,688

・館別貸出者数

館名	貸出者数(単位:人)				
	H23	H22	H21	H20	H19
取手図書館	84,016	89,244	91,449	88,743	86,553
ふじしろ図書館	89,870	87,543	83,553	69,487	76,431
戸頭公民館図書室	45,576	42,406	42,782	41,966	40,439
小文間公民館図書室	277	307	314	251	359
寺原公民館図書室	3,712	3,703	3,551	2,985	2,373
永山公民館図書室	761	744	564	488	471
ゆうあいプラザ図書室	3,165	2,848	2,847	3,003	3,140
井野公民館	1,786	1,663	1,805	1,274	992
取手駅前窓口	4,047	4,024	4,323	3,523	2,966
山王公民館	124	143	109	61	
六郷公民館	559	573	472	173	
相馬南公民館	392	550	630	324	
久賀公民館	2	6	0	22	
合計	234,287	233,754	232,399	212,300	213,724

・貸出冊数

館名	貸出冊数(単位:冊)				
	H23	H22	H21	H20	H19
取手図書館	267,856	287,956	301,944	299,164	297,743
ふじしろ図書館	279,526	265,928	250,769	225,923	220,987
戸頭公民館図書室	133,753	128,775	129,965	132,059	128,368
小文間公民館図書室	599	641	660	580	764
寺原公民館図書室	7,881	8,011	8,166	6,991	5,634
永山公民館図書室	1,698	2,067	1,581	1,300	1,142
ゆうあいプラザ図書室	8,011	7,375	7,316	7,726	8,488
井野公民館	3,248	3,281	3,844	2,573	2,121
取手駅前窓口	7,218	7,444	7,954	6,588	5,817
山王公民館	181	205	151	102	
六郷公民館	978	1,109	976	413	
相馬南公民館	654	945	1,071	600	

久 賀 公 民 館	2	9	0	44	
合 計	711,605	713,746	714,397	684,063	671,064

・予約（リクエスト）月別利用状況

月別	予約（リクエスト）件数（件）				
	H23	H22	H21	H20	H19
4月	7,715	9,327	8,384	7,770	7,433
5月	9,572	9,403	8,839	8,567	7,308
6月	8,629	7,907	8,299	5,035	6,632
7月	9,897	10,034	9,502	8,925	7,752
8月	9,987	9,339	9,092	9,285	7,841
9月	9,617	9,539	8,920	8,409	7,567
10月	9,689	10,119	9,719	9,268	7,775
11月	9,191	8,888	9,048	8,570	7,705
12月	8,488	9,625	8,579	8,302	7,741
1月	9,161	9,552	9,822	8,257	7,945
2月	9,809	9,130	9,276	8,504	8,085
3月	9,730	6,207	9,514	8,243	7,991
合計	111,485	109,070	108,994	99,135	91,775

○ 効果

図書館主催、ボランティアとの共催により、市民の読書活動、または図書館そのものに対する関心を高めるような行事を行った。平成24年3月に『取手市子ども読書活動推進計画』を策定し、また、ブックスタート事業を、配布冊数を見直しながらも引き続き実施するなど、子どもの読書活動推進のための事業に力を入れた。

[担当：図書館] P.415

2201 図書館資料購入に要する経費 35,432,361円 (31,518,180円)

〈3,999,931円〉※〈〉は、うち22年度繰越分

[国・県 3,999,931円 〈3,999,931円〉 その他 82,608円 一財 31,349,822円]

* 特財内訳

[国補：地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金 〈3,999,931円〉]

[諸収入：図書弁償金 82,608円]

○ 目的

市民の幅広い図書館資料に対するニーズに応える。

○ 内容

図書館の収集方針に基づき、資料を整備し、市民の読書活動を支援できるよう努めた。

・館別蔵書数

館 名	図書（単位：冊）				
	H23	H22	H21	H20	H19
取 手 図 書 館	127,402	136,748	143,984	141,553	138,546
ふ じ し ろ 図 書 館	121,112	114,403	108,711	101,790	95,467
戸 頭 公 民 館 図 書 室	56,766	58,890	58,043	57,228	60,313

小文間公民館図書室	2,487	2,437	2,181	2,216	2,282
寺原公民館図書室	4,870	5,099	4,824	5,288	5,372
永山公民館図書室	4,898	4,856	4,656	4,735	4,945
ゆうあいプラザ図書室	11,629	11,533	11,615	11,989	11,815
合 計	329,164	333,966	334,014	324,799	318,740

館 名	雑誌 (単位:種類)				
	H23	H22	H21	H20	H19
取 手 図 書 館	99	97	96	96	101
ふじしろ図書館	101	104	107	107	106
戸頭公民館図書室	33	34	33	33	33
合 計	2) 185	2) 198	2) 196	196	207

館 名	AV (単位:件)				
	H23	H22	H21	H20	H19
取 手 図 書 館	36				
ふじしろ図書館	4,303	4,094	3,963	3,827	3,559
合 計	4,339	4,094	3,963	3,827	3,559

1)蔵書冊数には寄贈本を含む。 2)全体の雑誌種類数(各館間で重複する雑誌は1つと数える)

【地域活性化交付金(住民生活に光をそそぐ交付金)事業】

知の地域づくりとして、DV対策・自殺予防等の弱者対策・自立支援関係資料を含み、図書館資料の整備のために参考図書を含め358冊購入した。

備品購入費 繰越明許費(図書) 〈3,999,931円〉

取手図書館	戸頭公民館図書室	ふじしろ図書館
225冊	66冊	67冊
〈2,474,393円〉	〈303,838円〉	〈1,221,700円〉

○ 効果

各館の特徴を活かした資料収集・整備に努めたことで、利用者サービスが拡大した。

5 社会教育費 4 文化財保護費

[担当:教育総務課] P.415

2001 文化財保護に要する経費 621,635円(1,002,911円)

[その他 670円 一財 620,965円]

* 特財内訳

[諸収入:市史・郷土史郵送料本人負担分 670円]

○ 目的

文化財は市民共有の財産であり、地域の歴史の歩みを後世に永く伝える貴重な資料でもあるので、文化財保護法や県・市条例によって文化財保護が義務付けられている。市内の国・県・市指定文化財の保護・活用につとめ、未指定の文化財についても調査を進める。

○ 内容

(1) 指定文化財補助金交付 (520,000 円)

指定文化財等補助金交付要綱に基づき、指定文化財の日常管理や修理・整備に対して補助金を交付した。

(単位：円)

指定	指定文化財の名称	日常管理補助金	防災設備保守点検補助金	その他
		定額	補助率 7/8 以内	補助率 1/2 以内
国	龍禅寺 三仏堂	9,000	60,000	31,000 [防災設備修繕(火災報知器修理)] 98,000 [茅屋根修理]
県	本多作左衛門重次墳墓(本願寺)	9,000		
	大日山古墳(岡神社)	9,000		
	地藏ケヤキ(高源寺)	9,000		
	長禅寺 三世堂	9,000	30,000	
市	八坂神社 本殿・拝殿	9,000	50,000	
	東漸寺 山門・観音堂	9,000	35,000	
	白山神社 本殿	9,000	36,000	
	中妻貝塚(福永寺)	9,000		81,000 [維持管理(草刈)]
	阿弥陀如来坐像(金仙寺)	9,000		
	絹本金地刺繍釈迦涅槃図(信楽寺)	9,000		

(2) 文化財保護強調週間に伴う特別公開

11月1日から7日の文化財保護強調週間に県・市指定文化財「旧取手宿本陣」と県指定文化財「長禅寺三世堂」の特別公開を実施した。

旧取手宿本陣 (10月28日～11月6日)

公開日	内容	参加人数	備考
10/28～11/6	特別公開	815人	
11/3～6	掛け軸公開	691人	本陣・染野家に贈られた水戸藩主直筆掛け軸の特別公開
11/3(木・祝)	講演会	107人	「将門の子孫－千葉氏・相馬氏と平清盛－」講師：埋蔵文化財センター職員
合計		815人	講演会参加者を含む

長禅寺三世堂 (11月4日～11月6日)

公開日	内容	参加人数	備考
11/4～11/6	内部特別公開	853人	

(3) 文化財防火デー (1月26日) に伴う消防訓練

文化財愛護と保護の意識を高めるため、指定文化財の建造物所有者に協力してもらい、毎年総合消防訓練を実施している。平成 23 年度は 1 月 21 日に計画したが当日雨天のため中止した。

(4) 国指定重要文化財「龍禅寺三仏堂」内部特別公開

国指定重要文化財「龍禅寺三仏堂」の内部特別公開を、消防訓練に合わせて実施した。

実施日	実施文化財	参加者数	協力者
1/21	国指定重要文化財「龍禅寺三仏堂」	102 人	地元消防団・地元住民 文化財保護審議委員

○ 効果

文化財の保存・管理について、補助金を交付することで、管理者の負担を軽減するとともに維持・修理を計画的に実施することができた。また、市民の文化財に対する理解と意識の高揚に寄与した。

[担当：教育総務課] P. 417

2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 6,800,232 円 (7,582,428 円)

[その他 240,000 円 一財 6,560,232 円]

* 特財内訳

[諸収入：本陣駐車場使用料 240,000 円]

○ 目的

県・市指定文化財「旧取手宿本陣」の保存・管理を行い、一般公開することで文化財への愛着や関心を高める。

○ 内容

(1) 一般公開

年度	公開日	日数	見学者	平均	内容
H23	週 3 日 (金・土・日)	158 日	4,979 人	31.5 人	・修復工事のビデオを随時放送。 ・土間でパネル展を実施した。 ・希望する団体には職員が説明を行った。
H22	同上	154 日	8,345 人	54.2 人	同上

(2) 管理・運営経費

・一般公開に関する経費：39,939 円

内 訳	支 出 額
消耗品費 (パンフレット用紙等)	39,939 円

・維持管理に関する経費：6,760,293 円

内 訳	支 出 額
史跡指定地・駐車場賃借料	4,792,274 円
日常管理委託料	478,800 円
庭園維持管理委託料	777,000 円
防災 (設備点検委託、機械警備委託)	255,150 円
火災保険料	49,451 円
光熱水費・通信運搬費・下水道使用料	271,803 円
修繕料 (県道入口案内板・裏山誘導路等)	135,815 円

○ 効果

旧取手宿本陣の公開は、市民の歴史や文化財に対する関心を高めている。また、見学者の約6割が市外からの訪問者であり、市の観光資源として活用されている。23年度は、22年度に引き続き取手宿ひなまつりに会場として貸し出し、多くの見学者に対し文化財に触れる機会を作ることができた。

[担当：教育総務課] P. 419

2401 埋蔵文化財調査・整理に要する経費 2,450,174円 (2,105,494円)

[国・県 1,000,000円 その他 433,200円 一財 1,016,974円]

* 特財内訳

[国補：市内遺跡確認緊急調査費補助金 2,000,000×1/2以内=1,000,000円]

[負担金：発掘調査原因者負担金 400,000×1件=400,000円]

[諸収入：郷土史売却代 33,200円]

○ 目的

取手市埋蔵文化財取扱い要領に基づき、土木工事や宅地開発等に伴う埋蔵文化財の確認調査や発掘調査に迅速に対応する。発掘調査によって貴重な埋蔵文化財を記録する。

○ 内容

(1) 市内遺跡確認・緊急調査の概要 (国庫補助事業)

確認調査(試掘)や個人住宅の発掘調査については、国・県から補助金を受け、市が調査を実施した。(事業経費：2,050,174円)

遺跡名・事由・面積	期 間	人員数・経費	内 容
台畑遺跡 個人住宅・337.54㎡	4/20	職員対応	遺構・遺物なし
下高井字向地 地内 通信用鉄塔・144㎡	5/17・18	委託料 42,638円 (作業員 4名)	遺構・遺物なし
稻向原3遺跡A地点 個人住宅・215.45㎡	6/27	委託料 10,659円 (作業員 2名)	遺構・遺物なし
椿山・大日原遺跡 個人住宅・597.02㎡	8/30	職員対応	遺構・遺物なし
稻向原1遺跡 通信用鉄塔・10.24㎡	10/11～14	委託料 31,978円 (作業員 2名)	縄文土器・土師器
神明遺跡 農地耕作・1,040㎡	11/7～12/30	委託料 798,137円 (作業員 5名) 使用料 153,300円	包含層・溝 縄文土器
新屋敷遺跡 宅地造成・3,598㎡	12/19～ H24.1/17	委託料 135,613円 (作業員 5名) 使用料 58,800円	住居跡 土師器・須恵器
下高井城跡 個人住宅・838.66㎡	1/10～16	委託料 90,606円 (作業員 4名)	遺構・遺物なし
稻向原3遺跡C地点 個人住宅・998㎡	2/13	委託料 10,659円 (作業員 2名)	遺構・遺物なし

西光寺前遺跡 宅地造成・1,038 m ²	2/21・22	委託料 63,957 円 (作業員 5 名：五拾塚遺跡と合算) 使用料 37,800 円	遺構・遺物なし
五拾塚遺跡 宅地造成・1,642.87 m ²	2/28～3/1	委託料 (西光寺前遺跡と合算)	遺構・遺物なし
市内遺跡整理	11/1～ H24.3/31	賃金 207,988 円 (作業員 2 名) 委託料 170,667 円 (作業員 9 名)	平成 23 年度に実施した調査の出土品整理。

(2) 新屋敷遺跡発掘調査 (事業者 (原因者) 負担事業)

宅地造成により保存が困難である新屋敷遺跡を記録保存するための発掘調査事業。原因者である事業者の経費負担により実施した。

・発掘調査概要

事 項	概 要
調 査 実 施 区 域	取手市戸頭字白旗 239-1 ほか (3,598 m ²)
調 査 要 因	宅地造成に伴う事前発掘調査
出 土 品 等	平安時代住居跡、縄文土器、土師器・須恵器等
発 掘 作 業 期 間	平成 24 年 2 月 15 日～3 月 26 日

・調査経費 (400,000 円)

経 費 内 訳	支 出 額	内 容
発 掘 作 業	400,000 円	
委託料	(346,880 円)	作業員委託料
使用料	(53,120 円)	作業重機賃借料

○ 効果

平成 23 年度は、10 遺跡 12 件の確認調査で、縄文時代の包蔵地や奈良・平安時代の集落跡を調査し、縄文土器・土師器・須恵器・平安時代の住居跡など貴重な資料が多数出土した。これらの調査により、重要な市内遺跡の破壊を防ぎ、貴重な資料を多数得ることができた。

[担当：教育総務課] P.419

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 705,430 円 (672,445 円)

[一財 705,430 円]

○ 目的

文化財保護施設として、貴重な発掘出土品や歴史資料を収納するとともに、その整理・研究成果を市民に紹介するため、企画展示・講演会・講座を開催し、市民の歴史に対する関心や、文化財保護行政に関する理解を深める。

○ 内容

(1) 年間来館者数

年 度	平成 23 年度	平成 22 年度
来館者数	6,244 人	5,242 人

(2) 展示活動

展示名	期間	入場者数 (1日平均)	経費	内 容
第 29 回企画展 「街道・水運・ 鉄道の旅」	2/21～4/22 開館 54 日 内 4/1 から で 22 日	2,183 人 (40.4 人) 4/1 からで 642 人 (29.2 人)	報償費、印刷 製本費は平 成 22 年度予 算 で 対 応 (4/1 以 降 は 支 出 無 し)	水戸街道の宿場、利根川水運 の河岸、鉄道交通の要衝とし て発展してきた取手の歴史 を、「旅」の視点から取り上げ た。 4/2 公開講座「常磐線・常総 線の歴史と取手」 参加者 85 名、講師：埋蔵文化 財センター職員
第 30 回企画展 「取手の戦国 時代－永禄十 四年の夏－」	7/20～9/22 開館 65 日	1,956 人 (30.1 人)	報償費 30,000 円 印刷製本費 325,500 円 (ポスター、解説 図録)	取手を含めた県内の戦国時代 の歴史を、龍禅寺三仏堂の木 札に書かれた永禄 14 年に焦点 をあてて、取り上げた。 9/3 講演会「東国の戦国時代と 古河公方の位置」 参加者 151 人、講師：内山俊 身氏（前茨城県立歴史館首席 研究員） 7/29～30「特別公開国指定重 要文化財龍禅寺三仏堂」 参加者 177 人 8/26～28「特別公開下高井の 中世史跡 高井城・薬師堂・高 源寺」参加者 185 人 歴史講座「取手の中世」全 4 回、参加者延 151 人（事前申 込定員制）、講師：埋蔵文化財 センター職員
第 31 回企画展 「絵図・地図・ 写真で見る郷 土の歩み」	2/20～4/20 開館 61 日 内 3/31 まで で 41 日	2,013 人 (33.0 人) 3/31 までで 1,387 人 (33.8 人)	報償費 30,000 円 印刷製本費 273,000 円 (ポスター、解説 図録)	江戸時代の絵図や明治以降の 地図、写真から郷土の歩みを 視覚的にたどった。 3/17 講演会「水戸街道を行く －道から学ぶ社会学－」 参加者 130 名、講師：千葉隆 司氏（かすみがうら市郷土資 料館学芸員）

○ 効果

平成 23 年度の来館者数は 6,000 人を超え、センターの存在と活動が着実に市民に浸透し理解されてきたといえる。こうした活動により、市民の歴史への関心が深まり、文化財を大切にする気持ちや文化財保護行政に対する理解を得ることができた。

6 保健体育費 1 保健体育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 423

1001 体育指導委員に要する経費 973,100 円 (1,063,000 円)

[一財 973,100 円]

○ 目的

市民の体力づくりと地域スポーツ活動の振興及び生涯スポーツの振興を図る。

○ 内容

市民のスポーツ活動促進のための組織の育成や、各種大会への指導助言と協力及び自主企画によるニュースポーツの普及と拡大に努めた。

体育指導委員報酬 日額 6,300 円×延べ 148 人=932,400 円

○ 効果

体育指導委員の活動により、地域スポーツの振興が図られ、多くの市民の健康と体力づくりに寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 423

2001 スポーツ団体育成推進関係経費 9,573,000 円 (9,573,000 円)

[一財 9,573,000 円]

○ 目的

スポーツ団体を育成・支援することにより、市民全体の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

○ 内容

団体名	団体数	会員数	活動内容
体育協会	32 部	7,764 人	体協親睦会・講演会の開催、視察研修各種講習会の開催、機関紙の発行、市主催行事への協力及び参加、競技別大会の企画運営、指導者の育成
スポーツ少年団	11 連盟 39 単位団	指導者 323 人 団員 1,177 人	青少年のスポーツ指導、競技別大会、教室の企画運営、認定員養成講習会、取手ブロック近隣市町村交流会、市主催行事への協力及び参加、各種講習・研修会への参加

○ 効果

体育協会は、自主事業の充実により市民全体の体力向上とスポーツの普及振興に寄与することができた。

また、スポーツ少年団は、青少年のスポーツ指導はもちろんのこと認定員養成講習会や取手ブロック交流会等を継続して実施することにより、スポーツを通して地域における青少年の健全育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 423

2002 社会体育振興関係経費 783,782 円 (652,404 円)

[一財 783,782 円]

○ 目的

市民の健康・体力づくりとスポーツ振興を図る。

○ 内容

生涯スポーツを通じて、心身の健康を保持・増進できるよう、誰もが参加できる各種の大会や体験会を実施した。

(1) 各種大会等の開催

事業名	参加人数	場所
第16回 小学生ドッジボール大会	317人	取手グリーンスポーツセンター
第43回 市民釣り大会	50人	さくら湖（小堀地先）
第42回 市民ゴルフ大会	184人	利根パークゴルフ場
第8回 市民親善ソフトボール大会	154人	取手緑地運動公園
第20回 ソフトバレーボール大会	206人	取手グリーンスポーツセンター
第12回 グラウンドゴルフ大会	131人	取手緑地運動公園
体力測定	120人	取手緑地運動公園
第40回新春健康マラソン大会	1,751人	取手緑地運動公園
第19回ふれあいウォーキング	165人	小貝川ヘルスロードコース
第6回市民ペタンク大会	244人	北浦川緑地

○ 効果

各種大会を通じて小学生から高齢者まで幅広くスポーツの楽しさを広めるとともに、市民相互の交流が深められ、参加者の健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 423

2003 スポーツ振興奨励関係経費 1,049,000円（928,000円）

[一財 1,049,000円]

○ 目的

社会体育関係団体を助成することにより、選手の育成と市民に対するスポーツ振興及び団体の育成を図る。また、身近なスポーツ・レクリエーション活動を支援する。

○ 内容

関東大会以上の大会に出場した者に対し、奨励金を支給することにより出場選手の負担の軽減と優秀選手の育成を図った。

奨励金交付対象 ・団体 26件 ・個人 21件

○ 効果

奨励金制度を活用することにより、選手の育成と市民におけるスポーツ振興及び団体の育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 425

2101 学校施設開放に要する経費 528,341円（555,963円）

[一財 528,341円]

○ 目的

小中学校の学校体育施設を開放することにより、スポーツ振興と健康増進を図る。

○ 内容

市民が行うスポーツレクリエーション、文化的活動を支援するため、学校体育施設

の開放を実施した。

年度	利用団体数	延利用人数	開放学校数	開放施設数
H23	249 団体	333,448 人	26 校	58
H22	253 団体	327,392 人	26 校	58

○ 効果

市民の健康、体力増進と学校体育施設の有効利用を図ることができた。

6 保健体育費 2 体育施設費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 425

2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 122,958,449 円
(127,589,632 円)

[一財 122,958,449 円]

○ 目的

市民スポーツの拠点となるグリーンスポーツセンターを多くの方に利用してもらうため、適正な維持管理を行うことで市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

○ 内容

平成 18 年度より、指定管理者による管理を実施している。

・指定管理料 120,661,000 円

利用状況

(単位：人)

施設名	H23	H22	増減
室内プール	97,214	89,947	7,267
遊水プール	14,836	19,711	△4,875
第一体育室	63,512	52,450	11,062
第二体育室	7,995	7,586	409
トレーニング室	42,739	40,128	2,611
柔道場	12,070	10,079	1,991
剣道場	11,347	12,955	△1,608
弓道場	10,393	10,968	△575
スポーツサウナ	0	192	△192
健康相談室	24	61	△37
スポーツ障害相談室	238	274	△36
研修室	11,379	7,354	4,025
会議室	552	715	△163
和室	730	1,174	△444
その他	14,443	17,422	△2,979
合計	287,472	271,016	16,456

○ 効果

近年は中高年者の利用も増加傾向にあり、市民のスポーツ振興の拠点として、健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 427

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 40,033,340円(39,262,379円)

〈6,982,500円〉※〈〉は、うち22年度繰越分

[国・県3,800,000円(3,800,000円) その他5,236,440円 一財30,996,900円]

* 特財内訳

[国補：地域活性化・きめ細かな交付金(3,800,000円)]

[使用料：テニスコート使用料1,094,900円]

[使用料：野球場使用料599,250円]

[使用料：多目的グラウンド使用料244,950円]

[使用料：総合体育館使用料3,256,600円]

[諸収入：コピー使用料40,730円]

[諸収入：電話通話料10円]

○ 目的

生涯スポーツの拠点として、藤代スポーツセンターの円滑な管理運営を行うことにより、市民の健康増進と利用者相互の交流及び利用者拡大を図る。

○ 内容

施設名	H23	H22	増減
アリーナ	34,007人	30,228人	3,779人
レクリエーション室	5,506人	4,695人	811人
多目的グラウンド	5,018人	9,860人	△4,842人
野球場	7,331人	11,196人	△3,865人
藤スポ・テニスコート	10,022人	9,436人	586人
久賀テニスコート	352人	557人	△205人
会議室	724人	818人	△94人
合計	62,960人	66,790人	△3,830人

○ 効果

施設利用者も増加傾向にあり、市民の生涯スポーツの拠点として健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 429

2301 藤代武道場管理運営に要する経費 4,818,427円(4,323,946円)

〈367,500円〉※〈〉は、うち22年度繰越分

[国・県200,000円(200,000円) その他1,402,280円 一財3,216,147円]

* 特財内訳

[国補：地域活性化・きめ細かな交付金(200,000円)]

[使用料：藤代武道場使用料1,402,280円]

○ 目的

藤代武道場の円滑な管理運営を行うことにより、市民の健康増進と利用者相互の交流及び社会体育の振興に寄与する。

○ 内容

施設名	H23	H22	増減
柔道場	9,101人	10,412人	△1,311人
剣道場	11,128人	11,687人	△559人
弓道場	2,056人	1,328人	728人
師範室	1,436人	1,008人	428人
合計	23,721人	24,435人	△714人

○ 効果

年間を通じて、市民の健康増進と施設利用者相互の交流に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 429

2401 社会体育施設管理運営に要する経費 1,964,044円 (1,398,021円)

[その他 496,900円 一財 1,467,144円]

* 特財内訳

[使用料：高須体育館使用料 73,900円]

[諸収入：子ども発達センター光熱水費使用料 423,000円]

○ 目的

生涯スポーツの拠点として、施設管理運営を行うことにより、市民の健康増進と利用者相互の交流及び社会体育の振興に寄与する。

高須体育館	H23	H22	増減
利用団体数	22団体	17団体	5団体
延利用人数	4,874人	4,977人	△103人

○ 効果

市民の健康増進・体力づくりの拠点として、またスポーツ・レクリエーションの普及発展に寄与することができた。

6 保健体育費 3 学校給食センター費

[担当：学務給食課] P. 431

2001 給食センター運営に要する経費 131,617,852円 (129,930,431円)

[その他 121,767,181円 一財 9,850,671円]

* 特財内訳

[諸収入：幼稚園給食代 2,796,774円]

[諸収入：小学校給食代(センター分) 78,333,902円]

[諸収入：中学校給食代(センター分) 40,636,505円]

○ 目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

○ 内容

給食センターを運営するための経費で、給食臨時職員賃金、消耗品、燃料費、賄材料費、手数料(職員保菌検査、食材検査、細菌ふき取り検査)、及び負担金等である。

○ 効果

内容豊かな給食の提供、給食環境の充実で、支障なく運営することができた。

[担当：学務給食課] P. 433

2101 給食センター施設整備に要する経費 30,510,158 円 (28,738,135 円)

[一財 30,510,158 円]

○ 目的

給食センターの施設管理等の充実を図る。

○ 内容

安全な給食を提供するための維持管理経費である。

(1) 需用費

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
光熱水費	水道料、電気料、ガス代	6,904,468
修繕料	調理器具等修繕料	1,785,870

(2) 委託料

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
給食運搬業務委託料	2 台の配送車による各学校への給食運搬業務	12,266,100
電気保安業務委託料	電気設備の安全管理	119,700
受水槽清掃委託料	受水槽の清掃	99,750
真空冷却機点検委託料	真空冷却機の点検	304,500
ガス空調機保守点検委託料	ガス空調機保守点検	546,000
汚水・排水処理施設清掃点検委託料	排水処理施設保守点検・浄化槽油脂の汲取り	1,984,500
ボイラー設備総合管理委託料	ボイラーストレージタンク・ボイラー水の中和装置の点検整備・重油タンク清掃・ボイラー排ガス測定	816,900
冷凍・冷蔵設備保守点検委託料	冷凍・冷蔵設備の点検	126,000
高窓・排気ダクト清掃委託料	高窓・燃焼排気ダクトの清掃	183,750
警備委託料	施設警備	167,580
害虫駆除委託料	害虫の駆除	73,500

○ 効果

給食の安全性がさらに高まり、小学校 6 校、中学校 2 校、幼稚園 1 園に予定どおりの給食を提供することができた。